

令和2年度(2020年度)

国際教育

地球市民を地域とともに育てよう Part 19

報告書



子どもの権利条約をテコに

テコ『小さい力を大きな力に、小さい動きを大きな動きに変える仕組み』

テコを使うと重いものも持ち上げられる
一人の小さな力が大きな力になる



公益財団法人滋賀県国際協会

目 次

◇ 目 次	1
-------------	---

実践報告

◇ 国際教育ワークショップ	2
---------------------	---

地球市民を地域とともに育てよう Part 19

「コロナ禍でさらに追い詰められる子どもたち ～子どもの権利をテコにして考える～」

午前の部 「感染症から考える ―withコロナとどう向き合うか―」

講師：金田 将裕 さん

京都市立西京高校 教諭

午後の部 「コロナ禍でさらに追い詰められる子どもたち	8
----------------------------------	---

～子どもの権利をテコにして考える～」

講師：甲斐田 万智子 さん

認定NPO法人 国際子ども権利センター（シーライツ）代表理事

開催日 2021年2月13日（土）

会 場 WEB会議システムzoom

主 催 公益財団法人滋賀県国際協会

共 催 独立行政法人国際協力機構関西センター（JICA関西）

協 力 国際教育研究会 Glocal net Shiga

◇ 国際教育教材体験フェア in 滋賀 2020 報告	26
-----------------------------------	----

開催日 2020年8月11日（火）

会 場 コラボしが21大会議室CおよびWEB会議システムzoom

主 催 公益財団法人滋賀県国際協会

共 催 独立行政法人国際協力機構関西センター（JICA関西）

国際教育研究会 Glocal net Shiga

資料集

◇ 滋賀県における外国人人口統計	28
◇ 国際教育研究会 Glocal net Shiga 活動報告	29
◇ 国際教育・開発教育貸出教材の紹介	31

実践報告

国際教育ワークショップ 報告

地球市民を地域とともに育てよう Part 19

「コロナ禍でさらに追い詰められる子どもたち
～子どもの権利をテコにして考える～」

国際教育教材体験フェア in 滋賀2020 報告

コロナ禍でさらに追い詰められる子どもたち ～ 子どもの権利をテコにして考える～

開催日：2021年2月13日（土） 午前の部 10：00～11：30 午後の部 13：30～15：30

会 場：WEB会議システムZoom

主 催：公益財団法人滋賀県国際協会 共催：JICA関西 協力：Glocal net Shiga

【午前の部】

感染症から考える ー withコロナとどう向き合うか ー

■講師の紹介

京都市立西京高校 教諭 金田 将裕さん

京都市立西京高等学校、理科（化学）教諭。2016年にJICA教師海外研修（ネパール）に参加。この年から、各国で活動中の青年海外協力隊の友人を訪れ始め、この経験をもとに授業の中で国際理解について触れるようになる。また、JICA関西の教師海外研修OB会で開発教育の勉強会に参加しながら、自らワークショップを実践するようになる。2020年から青年海外協力隊として派遣予定だったが、現在延期となっている。



友達が青年海外協力隊としてケニアで活動していたのと、自分も動物が好きなので、アフリカのまさにサバンナへ行きたい気持ちがあり、こんな機会は二度とないと思い、2016～17年の年末年始にかけて友達に会いに行った。これが一回きりだと思っていたが、JICA教師海外研修のOBの方々が青年海外協力隊で派遣されることになり、活動中の協力隊を頼って現地訪問を重ね、これまで4回参加してきた。アフリカのケニア、エチオピア、ザンビア、南米のパラグアイを訪れた。

せっかくアフリカに行ったので生徒にも、アフリカの現状や自然を見せていたが、2018年夏にザンビアを訪れた際に、写真を見せるだけではもったいないと感じるようになった。感染症の危険性を身をもって、自分がかかってはないが感じたり、教育の必要性を実感できたので、これをワークショップという形で化学実験を交えて作ってみた。それを、Glocal net Shigaに披露して、今回これを紹介することになった。

2020年4月から青年海外協力隊として理科教育の分野でラオスに行く予定だったが、コロナの状況で延期となり、今春も見送ることになったので、今度はいつ行けるかなという状況で過ごしている。

この後、ブレイクアウトルームを活用しながら、参加者同士で自己紹介をお願いしたい。

①名前と所属、②行きたい場所、③わたしの気持ち*、④コロナ禍でもプラスに感じたこと について話してください。

（*開発教育協会発行「新型コロナウイルス感染症とわたしたち」より<http://www.dear.or.jp/books/book01/2645/>）

わたしの場合は、ラオスに行きたかったなという思いと、ガラパゴス諸島に行く予定もあったのでエクアドルに行きたいなという思いもある。③は事前に配布した資料を見て、コロナ禍で自分の気持ちに近いものを3つ選んで、なぜ選んだかについて話し合ってください。「プラスに感じる」という表現がよいのかわからないが、職場のICTが進んだこと、ペーパーレス化が進んだりしたことがあげられる。身近な社会でプラスと感じられたことを挙げてもらいたい。

1. ブレイクアウトルーム① 自己紹介タイム

一人3分程度で設定。13分間のブレイクアウトルームに分かれていただく。そのあと、④の内容について、チャット機能を使って個々に書き入れてください。

参加者から寄せられた「コロナ禍でプラスに考えられたこと」

- ICTの活用が進んだこと。普段の何気ない同僚との話や、人との出会いでの会話がどれだけ重要であったかを再認識できた。
- 遠くの方々とオンラインで気軽に繋がることができるようになった。
- コミュニケーションの大切さ。早くマスクなしでいろいろな人と話したい。
- オンライン授業だと離れていても受けられる。地方の実家暮らしの人も東京の授業を受けられる。
- Zoomは「どこでもドア」
- 自宅にいる時間が増えたので、資格の勉強をたくさんできた。
- 学校教員。学校の役割や、働き方、生活の在り方など今までの生活を振り返り、考え直す機会になった。
- ICTでの新たなつながり、臨機応変に対応できるようになったり、新たにできることも。
- 人類がこれからの生き様を考え、どのような社会を作っていくのか、それを考えるきっかけ。
- 自分のことについて見つめ直す機会が増えた。また周りの方々への感謝の気持ちを持つようになった。
- 「あたりまえ」だと思っていたことが、あたりまえではなかったことに気が付いた。
- オンラインが普及し、自分でもホストできるようになった。
- 社会全体の頑張り。オンラインによる新しいつながり。新しい価値観を生む絶好の機会。
- 気軽に会えないことで、家族や友達の大切さを実感した。
- テレワークや時差出勤など働き方の多様化が促進。
- zoom等オンラインのツールを多くの人が活用できるようになったこと。
- オンラインで普段交流することのない人々とつながることができて、世界が広がったこと。いろんなジャンルの人との交流でよい刺激を受け、楽しく学ばせていただけたこと。
- 英語教室講師。沢山の方と（海外の方とも）繋がれた。子どもたちとオンラインレッスンを2カ月やり、子どもたちと朝の会をして毎日様子を見がてら、普段のレッスンではできないことをして英語を楽しんだ。教育面でのIT化が進んでいないことが露呈したため、この春からタイピング練習を高学年から取り入れてレッスンすることに決めた。対面の良さとともに、世界に付いて行ける教育の在り方を模索しないとイケない。

- 行動すればいいというだけではなく、自粛(何もしない、行動しない)も方法だということもわかった。

2. 化学実験を使ったワークショップの紹介

【化学実験の紹介】

生徒たちには、「これからゲームをしよう!」と感染症の実験をすることは伏せてスタート。一人一つずつビーカーを持たせた。ビーカーの中には無色透明な液体が入っており、それは大事な命の源だと伝えた。



「多くの人からいろんなエッセンスを吸収するといいぞ」と言って、お互いのビーカーの液体を一つに合わせた後、またそれぞれのビーカーに半分ずつ分けるという方法で交流を促した。

だいたい一人当たり3~5人の生徒たちと交流をしていた。

感染症Xが流行!

検査を受けることに



ここで、「感染症X」が大流行。みんなのビーカーの中身は無色透明なので、誰が感染しているかわからない状態なので、簡易検査を行うことになった。

感染していないと薄い茶色、感染していると濃紫色に液体が変化する。

結果、ほぼ全員のビーカーの中身が濃紫色に変化し、感染した状態になった。

そこで、薬を選ぶことになった。

薬はそれぞれ値段が異なる。

どの薬を買うかは、みなさんの所持金から考えてもらいたい。所持金は、みなさんの**誕生日**と**血液型**で以下に従い算出する。

たとえば、11月生まれで血液型がB型だと、所持金は1,100円。さて、どの薬を選んだ(選べた)だろうか?



10円 100円 1000円

所持金

誕生日×血液型

11×100=1,100円

O型 x1 A型 x10 B型 x100 AB型 x1000

重症化するまで

- ①1980年より前
- ②1980年以降
- ③平成生まれ

あと
10分
30分
1日

さらに、生まれた年によって、重症化するまでの時間は左のとおりとなっている。

10分後



選んだ（選べた）薬によって、助かった人と助からなかった人が出た。値段の高かった薬はすぐに効果が表れ、その他は効果が出るまでには時間がかかるものだった。誕生日と血液型の条件に加えて、生まれた年によって助からなかった人もいる状況。

すぐに効果が表れる薬を得られたのは、全体の1割程度。

最後に、ワクチンや治療薬が拡がるとどうなるか？についても触れてみた。

色のついた感染したビーカーに、治療を受けて無色透明になったビーカーの中身を提供すると、すべてが無色透明に変化した。こうして、ワクチンや治療薬が拡がれば、みんなが重症化を防げるようになると考えられるだろうというワークを行った。

感染症の広がりを疑似体験する化学実験を使ったワークショップの詳細は、金田さんのnoteにまとめてくださっていますので、ご関心のある方はこちらをご覧ください。

➔ <https://note.com/masahiro1105/n/n5a38d9e4c0cc>

3. ブレイクアウトルーム② 以下の2点についてグループで話し合い

- ①入手できる薬の格差について、どう感じたか？
- ②日本に暮らしている立場で、こうなってほしい未来、自分にできること

- まずは知ること。知らないとできることもできないし、行動も起こせない。
- うがい、手洗い、マスク励行を続ける。
- 人々の助け合いや優しい気持ち、先ほど感染症が広がっていったみたいに少しずつみんなに広がっていけばいいと思う。
- 人類全員に資源が行き渡るわけではないので、やはり情報公開と機会均等が重要では。
- まずは現状を知ることが大切。金田先生と同じような授業を小学生で実践された話を聞いた。豊かな国と豊かでない国という差が世界にはあるということを知る機会が、とても大切だと思った。
- 全世界の貧困差に関係なく、平等にワクチンがいきわたる世の中になってほしい。そのような体制整備が必要。命に関することでは国家間の争いなどが関係なく制度が敷かれるとよい。
- ワクチンの供給が政治的に利用されているのではということの不条理を感じる。命に関わることなので違いを超えて協調しあえる枠組みができ実現してほしい。
- 便利、裕福さが目標ではなく、不便さや貧しさが新しい創造や喜びを生むチャンスだと思える価値観の広がり。そして、それが実際に人々の利益につながるシステム。
- 興味を持っていない人にも関心を持ってもらえる身近なものや繋げて発信をする。

- 自分の利益を一番に考えるのではなく、どうすれば多くの人を救えるのかを考えるのが大切であり、そのように考えることができる人がたくさんいる未来になって欲しい。
- 感染症を通じてワクチンの配分などは政治の役割が重要と感じる。有権者としてだれを選ぶか、きちんと選挙に行くことから始めたい。
- コロナ以前の状態にもどすのではなく、オルタナティブな社会を目指す必要があるのでは。
- ワクチンのオークションが行われている一方で、ワクチンの存在すら情報を持たない弱者のことが気になった。さらにオリンピックを開催したいために確保されるワクチンは、どこかで人の命を救えるのではないかと思ってしまう。
- 貧困・格差のある現実などに目を背けず、まずは自助、それから助けの必要な人や国に自分は何ができるか考えて行動する。
- 緊急性の高い人々や地域に治療薬を配布することを世界レベルで考えていく必要性があることに気づき、その仕組みをつくっていける未来になってほしい。
- すべての人に正しい情報が開示されて欲しい。SNSなどで流れてきた情報を安易に信じない、流さないようにする。

4. 感想・意見共有

このワークショップの感想（改善点・アドバイス）、新たなアイデア、自分ならどう活用したいか？について、フリートークをしたのち、全体で共有した。

【グループ1】

- （実験が）面白かったので、やってみたいという声が多かった。一般化するためには、詳しく書いたレシピが欲しい。パワーポイントの資料も提供してもらえるとうれしいし、広げていける。
- 感染の度合いがわかるように色見本が用意されていると、重症化のレベルがわかるとよいかも。
- 所持金は、コップに書いておくと簡単にできるかもしれない。

【グループ2】

- 改善点はない。
- いろいろな人の意見が聞けて、目からうろこの体験ができ、参加できてよかった。
- 疑似体験は良いツール。小さな子どもにもできそうなので、やってみたい。
- 異学年、年齢幅が大きな参加者で一緒にやってみると、もっと広がりがあるかもしれない。

【グループ3】

- とても面白い実験だった。
- 発展させることを考えると、先進国、途上国の自分がどこにいるのか、コップに印をしておくと面白いかも。
- 時計反応、時間差5分後などに反応するものも活用すると、時間がたつと感染している（潜伏期間）などが効果としてリアル感が増すのでは。

講師⇒ 化学の教員だと、時計反応に必要な試薬も手に入りやすいですね。

【グループ4】

- ストーリーとしてどう組み立てていくかが重要。ビーカーの水の部分は、積極的に交流すればするほど感染が拡大していく。コロナの広がりと一緒に。豊かな人がワクチンを入手することができる不条理を知り、どうしていけるかを考えるのか。現実の情報を取り入れながら、個々が考えられるとよいのではないか。私たちが、コロナ後の世界を見据えて、どう行動していくかを考えるワークショップになるとよいかなと思った。

【グループ5】

- ワーク自体は血液型や誕生月で自分ではどうにもならない状況を設定するところから、よく練られていた。格差社会を考えられるものだった。ぜひやってみたい。
- なかなか教室で液体をもって授業をするのはハードルが高いので、金田さんが実際に生徒に実践されたという教育と識字率のワークの方なら取り入れやすそうなので、もっと知りたいという意見があった。
- この最後の展開はどうなったのか、流れが知りたい。生徒さんたちの反応はどうだったのか？格差社会に関して、お金だけではどうにもならないことについても伝えたほうがよいかなと思う。

【グループ6】

- シンプルな内容にされていたのでお金で貧富の差を注目されていたが、情報の格差、情報弱者について問題とするために、一部の人に事前に情報を知らせておくような仕掛けがあっても面白いかも。今のワークとリアルな社会での出来事とギャップを埋めるための落とし込みも重要。若い方たちに、日本で生まれてよかったという印象だけにならないようにする工夫が必要。

【グループ7】

- 感染症はみんながかかるもので特別なものではない。自分も感染するんだということが、まじまじと伝わるのが大事。
- 社会的にもフォーカスされているところがよい。金銭的な面を取り上げることで、化学の実験を超える学びがあった。
- みんなで集まってやると密になるので、非現実的なことになるが、将来的にはVR（仮想現実）を使った実験などができる時代も来るのかと話していた。
- 薬を飲まないという選択があってもよいかも。薬は高くて手に入らない場合、単に水で薄めるという選択肢があってもよいかも。

最後に講師の金田さんからのコメント

もともとはアフリカについてのワークショップを作っていて、その中で感染症の広がり、識字率の問題、教育の必要性を感じてもらうアクティビティとして実践した。その後、エイズ感染について取り上げた。日本でもエイズ感染者への差別や偏見があり、昨年か一昨年に内定取り消し事例があったことなどについても問題提起をした。また改良した形でどこかで実践できたらいいなと思う。貴重なご意見をありがとうございました。

【午後の部】

コロナ禍でさらに追い詰められる子どもたち ～ 子どもの権利をテコにして考える～

■講師の紹介

認定NPO法人 国際子ども権利センター（シーライツ）代表理事

文京学院大学 教授

甲斐田 万智子さん

日本ユニセフ協会勤務後、ブータン、インドに滞在しストリートチルドレンや貧困少女たちにかかわる。1996年にシーライツに入職。国内外で子どもの権利普及活動に携わる。2004年からカンボジアで児童労働・人身売買防止事業に従事し、2010年に帰国。2012年から文京学院大学教員。編著『世界中の子どもの権利をまもる30の方法』（合同出版）共著『SDGsと開発教育:持続可能な開発目標のための学び』（学文社）など。



1. 子どもの権利条約について

シーライツの紹介

シーライツは、子どもの権利の普及と途上国の子どもの支援を目的に活動を行っている団体。「子どもの権利アプローチ」とは、子どもが支援やサービスが必要だと要求できることに対して、大人が応えられる仕組みを作っていくというもの。子どもの権利条約を日本は94年に批准している。その条約に沿って法律の改正がなされるべきだったが、最近もどんどんと法律が変わったり作られたりしている。それらの法律を知らせることで、例えば女の子が裸の自撮り写真を送ってしまったケースでは自分を責めることがあるが、悪いのは撮らせた相手、販売した相手であり、相手を訴えることができることを知らせることで女の子たちが力を得る（エンパワーされる）ことができる。なので、最近では法律を伝えていくことが非常に大事だと考えており、早く子どもの基本法が国レベルで制定されることを望んでいる。滋賀県には子ども条例があるが、すべての自治体で条例ができることが大事。

ミッションとしては、子どものエンパワメント。子どもが自分の力を知って、自分や友達を守ることができるようにすること。そして、自分の気持ち・意見を自由に表現できるように応援することをミッションに掲げている。そうした子どもたちの声に応えられるように、子どもの声を聴き、子どもを守る大人を増やすことが必要。今日は学校の先生方も多く参加してくださっているので、大変うれしく思っている。

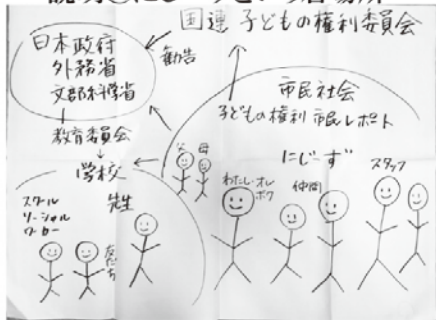
個人レベルで子どもの権利を知り、何か行動を起こそうとしてもなかなか難しく、支援したり助けたり、子どもの声をアンプやスピーカーの役割で広く大きくしていくことが大事。一人ではできないので社会全体でそういう意識をもって変わっていく。それが子どもにやさしい社会だと考えている。

国際子ども権利センター シーライツのあゆみ

国際子ども権利センターシーライツのあゆみ

- * 1992年 大阪で設立
- * 1994年 JFC(ジャパニーズフィリピンチルドレン) 支援活動
- * 1997年 インドプロジェクト開始、インドから働く子どもたちとNGOスタッフを招聘。児童労働問題と子どもの声(参加の権利)を重視する活動を
- * 2004年から カンボジアで人身売買・児童労働防止
- * 2017年 子どもに対する暴力撤廃日本フォーラムに参加
- * 2019年 『世界中の子どもの権利をまもる30の方法』(合同出版)を編集・出版。
- * 広げよう！子どもの権利条約キャンペーン開始
- * 国内でマイノリティの子どもの声を聴くプロジェクト開始。

子どもの権利条約の仕組みと 子どもアドボカシーをLGBTQの子どもたちに 説明@にじずという居場所



シーライツの歩みの中で、2019年に多くの団体とともに「広げよう！子どもの権利条約キャンペーン」を始め、今年が3年目となる。多くの人が、子どもの基本法の制定を呼び掛けたり、子どもにやさしい社会、子どもの声を聴いていく社会にしようというキャンペーンに参加しているので、興味のある方は賛同人・賛同団体となっていただけるとうれしい。

子どもの声をどんなふうに社会に反映させていくかという時、子どもたちに知っておいてほしいのは、子どもの権利を守ろうとしている団体を見つけることが大事だということ。学校などで、LGBTQの子どもは自分の権利をもっと守ってほしいと、先生やスクールソーシャルワーカーに伝えることもできるだろうし、後ほど紹介するLGBTQの子たちの居場所「にじず」のスタッフに話したりすることで、子どもの権利を守る市民社会に向けてまとめて声を大きくすることで、国連子どもの権利委員会に伝えることができるようになる。そして国連子どもの権利委員会から、たとえば

「日本はLGBTQについてもっと学校で教えていきましょう」、「マイノリティの子どもを特別に守っていきましょう」といった勧告が出ることになる。これを日本政府の外務省が受け取り、文部科学省に伝え、教育委員会から学校に伝わるという仕組みについてソーシャルジャスティス基金の助成を受けて、これまでマイノリティの子どもたちにも伝えてきた。

この「にじず」のワークショップに参加した子どもたちの声として、「どんな学校・どんな先生だったらいいですか？」という問いかけに対して、このような回答があった。

- 同性愛についてクラスメイトたちが差別的な発言をしたときに一緒になってからかうようなことをしない先生
⇒ 差別的な表現をする生徒に指導しなければならないのに、実際には、一緒になってからかっている先生もまだいることがわかる。今日の参加者にはいないだろうが、同僚の中にいるかもしれない場合は、自分ひとりが理解するのではなく、学校全体、滋賀県全体で変わっていくことが必要。

「にじず」は、LGBTQの子どもの居場所だが、シーライツではLGBTQの当事者の子どもと、そうした子どもを理解したい子どもの両方に呼びかけてワークショップを行ったことがある。その最後に、「私は学校に〇〇を求めます」と書いてもらった。

- セクシュアリティについて相談できる先生がいる学校
- ジェンダーに関係なく平等に子どもが教育を受けられるようにするところ
- 多様な性に関する知識が得られるような学校等

当事者だけでなくそうでない子どもにとっても、多様な性、多様な人たちに対して理解したいという思いがあることをすごく感じた。

学校に求めるもの 「私は学校に〇〇を求めます。」

- ＊ 選択肢と選択する自由
- ＊ セクシュアリティについて相談できる先生
- ＊ ジェンダーに関係なく平等に子どもが教育を受けられる
- ＊ 多様な性に関する知識の習得と子どもたちへの教育
- ＊ 人権
- ＊ 先生の理解
- ＊ 性の多様性教育
- ＊ 一人一人が違う人間だということを理解して教育すること
- ＊ 性別に関する全てのことに自由
- ＊ 多様な性を認め、どんな学生も安心して学べる場

カンボジアでの事例について

シーライツはもともと国際協力団体として始まったので、海外での支援活動を行ってきた。カンボジアで2004年から子どもたちに関わり、子どもの権利を教えることで、子ども自身が人身売買や児童労働、性的搾取から守られるように、子どもが自分のことを守って、大人も子どもを守れるようなそういう活動をしてきた。

その結果、カンボジアの国民性として子どもたちはシャイで、目上の人を敬う文化があるのだが、

カンボジア 子どもが活動を通じて得た自信 子ども自身が学ぶ権利を主張



- ＊ 中学女生徒の声
- ＊ 「以前は年配の人に意見を言えませんでした。今は、特に人身売買や性的搾取について意見を言うことができます」
- ＊ 「私はメンバーになってとても変わりました。私の家はとても貧しく、何度も出稼ぎに出ようかと考えたことがあります。しかしメンバーになって、家族を助けることも大切だけれども、自分の学ぶ権利を守ろうと思いました」

そうした子どもたちであっても、「以前は年配者に意見が言えなかったが、今は言えるようになった」とか、「自分の家は貧しく何度も出稼ぎに出ようかと考えたが、自分の学ぶ権利を守ろうと思いました」といった変化があった。

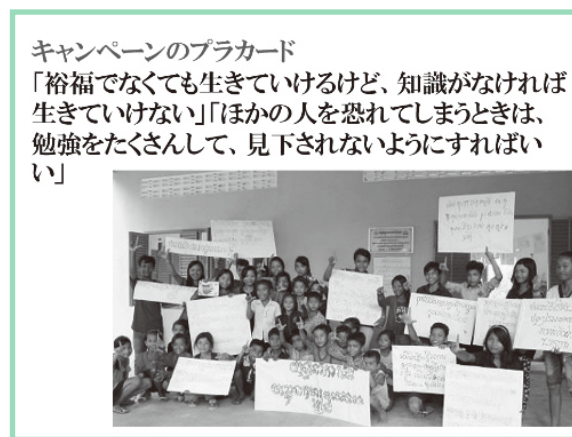
これが子どもの権利をテコにするということで、子どもの権利を知らなければ、「やっぱり私は女の子だから、がまんして出稼ぎに行かなきゃならない」と考え、危険な出稼ぎに行き、人身売買に巻き込まれ被害に遭うことが絶えないが、権利を知ること、あたりまえの権利を主張する

ことが決してわがままではないんだという気持ちになっている。

カンボジアの事業地タナオでは、貧困家庭が多く、学校をやめて働く子どもが多い。では、なぜ多くの子どもが学校をやめてしまうのかについて、子どもたちがピアエデュケーターとなって自ら問題分析をした。親が農業するために化学肥料や農薬をたくさん買うために借金をしてしまうから子どもがベトナムに行かなくてはならなくなっているということを考え発表する中で、エンパワーされていくという活動をしている。

自分たちで考えていく中で、物乞いに出される子どもを減らすためには、まず親が変わらなくてはならないので、親たちに「子どもたちを学校にやらせてください」とメッセージを発しながら村を歩くキャンペーンを行ったりしている。子ども自身も、「私は物乞いで何カ月も休んでいるから学校に行けない…」と考えるのではなく、「知識を身につけることは、差別されないためにも大事だから」と、メッセージを掲げてキャンペーンを行っている。





物乞いに行くために欠席をし、その後の長い夏休みの後に、学校に戻りにくいとおきらめる子どもも多いので、そうした子どもたちにもメッセージを発している。このように多くの子どもたちが訴えているというのがカンボジアの事例である。

チャイルドライツ・カフェについて

チャイルドライツ・カフェの開催

第1回 子どもの権利とSDGs
第2回 子どもの権利と多様な学び
第3回 外国にルーツを持つ子どもたちの学ぶ権利について～多様性を認める社会を目指して～

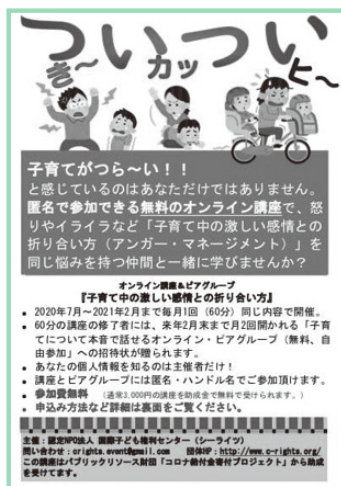
- ・日本には多くの外国にルーツを持つ子どもたちの学校教育を受ける上で様々な困難。
- ・2019年の文科省の調査によって、義務教育レベルで少なくとも約2万人の外国ルーツの不就学児童がいる。
- ・また、義務教育を受けることができた外国ルーツの子どもたちも様々な課題に直面。
- ・日本国内における高校進学率は100%近いにもかかわらず、外国ルーツの子どもたちの進学率は、日本全体の進学率と比べてかなり低いレベルにある。
- ・教育を受ける権利が保障されていない子どもたちがたくさん生まれてしまう背景には何があるのか考える。
- ・日本語教育推進法が制定されたにもかかわらず、多くの日本語が必要な子どもが学校で支援を受けていない(2019年1万人以上)
- ・コロナで多くの夜間中学が閉鎖の危機に

また、最近シーライツでは、「チャイルドライツ・カフェ」という取り組みを行っている。子どもの権利をいろんな角度から見てみよう、と、「第1回 子どもの権利とSDGs」、「第2回 子どもの権利と多様な学び」と題し、学校でなくても、家やフリースクールで教育を受けることも子どもの権利だということで開催した。今度は「第3回 外国にルーツを持つ子どもたちの学ぶ権利について～多様性を認める社会を目指して～」を対談形式で開催することにしている。

滋賀県国際協会では、外国ルーツの子どもをテーマとして、これまでも何回か取り上げてくれたので、ご存じの方も多いと思うが、外国ルーツの子どもたちは、いろんな困難に直面している。中には、言葉がわからないので特別支援学級に入った方がよいとされたケースもある。本当に外国ルーツの子どもたちにとって特別支援学級に入っていくことが最善の利益なのかわからないまま、安易に入れられていることもある。さらに問題なのは2019年に、まったく学校に来られていない子どもたちが約2万人もいることが分かったこと。そして、中学校までは義務教育なので公的な支援が受けられているが、高校進学には大きな壁があること。日本語指導が必要な子どもが1万人以上いるにもかかわらず十分な支援を受けていないこと。また最近、東京で「人権と教育」という研究会に参加したが、夜間中学校は外国ルーツの子どもたちに大事な学びの場を提供しているが、コロナによって閉鎖の危機に直面しているという問題も起きている。

その他の活動について

最近のシーライツの活動としては、児童虐待を止めるためには、親がどんなふう子どもをしつけ



たらよいか、子どもの脳を傷つけないようにしつけることが大事だという子育てヒントを伝える講座を数年前から実施しており、昨年はオンラインで開催している。興味がある方はホームページをご覧ください。子どもの脳を一度傷つけてしまうと、大人になるにつれて、依存症や病気になったり、犯罪を犯すリスクが高まるなどの研究結果が出ているので、社会全体でこの問題を考えていかななくてはならない。今日は、児童虐待とコロナの関係性についても話すが、興味がある方はこちらをご覧ください。



最後にシーライツでは、子どもの権利を普及している。2019年は国連で子どもの権利が採択されて30周年だったので書籍を出版した。印税は子どもの権利のために使われるので、まだの方は是非ご購入いただきたい。それぞれの権利条約の条文とSDGsの目標の関係性を示しているところが他にない特長かと思う。

子どもの権利条約をテコに

今年度、アーユス仏教国際協力ネットワークから助成をうけ、さまざまな方にインタビューを行った報告をしたい。



(図1)

言われたので、今回「テコ」という言葉を使うことにした。

子どもが重たい荷物を持っている絵（図1）があるが、直面している人権侵害など自分一人ではどうしようもできないという時に、テコである子どもの権利を使って状況を打開することができるのではないかが今日のテーマ。そのためにも、子ども一人一人が自分の持つ「子どもの権利」を知っておくことが大切。大人も、それぞれの権利を知り、その子どもが何か求めてきた時に応えられるようにしなくてはならないというのが、子どもの権利条約をテコにするという意味となる。

今日は全部で54条ある子どもの権利条約の一部を紹介したい。

子どもの権利条約について

一番覚えておいてほしいのは、この条約により『子どもが権利の主体と認められた』ということ。子どもが1人の人間として尊重され、子どもの意見がきちんと聴かれ、子どもは何も知らないだろうと差別されなくなった。もしも、子どもが自分の権利が実現されていない、守られていないと感じると

きは、その責任を負っている人、子どもの権利を保障しなくてはならない人、実現することができる人たちに要求できるというもの。これを『子どもの権利ベースアプローチ』と呼んでいる。子どもは社会の担い手として、この条約が出来た32年前の1989年は、子どもと大人と一緒にパートナーとして社会をつくっていき、社会を変えていくために子どもの声を尊重していき、大切にしていこうと子どもへの見方が変わった年。つまり、社会のことを子どもたち自身が決めていけるようにしようというもの。もちろん子どもたちだけでは決められないが、例えばグレタさんは、「今のままでは環境が破壊されて地球がだめになってしまう。その地球に住む私たちの生活が脅かされている」と自分事として訴えた。子どもたちがもっともっと訴えていけるようにするというのが、本当は子どもの権利条約ができた時にみんなで決めたことだった。だが、日本ではなかなかそれがうまくいっていない。なぜならば、子どもへの差別、子どもは何もわからないという蔑視・差別があるからと考えている。今回のコロナによる緊急事態でも、子どもとの対話なしに休校を決めるのではなく、子ども自身にどうして休校にしなければならないかの理由を説明しつつ、休校期間中に何ができるか、休校中には何に困るかといったことを一緒に考えなくてはならなかった。

1. 子どもの権利条約

★子どもが権利の主体に

★権利が保障されていない実現されていないときは要求できる

- ・ 子どもは社会の担い手 子どもの声が社会を変える
- ・ 自分たちの社会のことを自分たちで決めていく
- コロナでも緊急事態でも大事にしたい権利
- ・ 第2条 差別されたらどうする？ 差別されないために
- ・ 第3条 子どもの最善の利益 子どもにとって一番いいことを決める
- ・ 第12条 子どもにも意見を言って、それを尊重される権利がある
- ・ 第13条 子どもにも自由に表現し、情報を発信する権利(自由)がある
- ・ 第14条 子どもにも自分の考え方や信じることをおとなから否定されたり、強制されない権利がある
- ・ 第17条 子どもにも適切な情報へアクセスする権利がある
- ・ 第15条 子どもにもグループをつくったり会議を開いたりする権利(自由)がある
- 子どもが自分の権利が侵害されていると思ったら相談する
- ・ 第19条 子どもは親から虐待・ネグレクト・搾取されない権利がある
- ・ 第26条 子どもの親が厳しい状況に陥ったら国から社会保障を受ける権利がある
- ・ 第27条 どんな子どもにも必要なものが十分に満たされた生活を送る権利がある

様々な子どもの権利に関する原則・大事なことが条約に書かれているが、最も大事な原則として、『第2条 差別の禁止』どんな子どもでも差別されないと、『第3条 子どもの最善の利益』子どもにとって一番いいことを決めるということがある。そして『子どもの参加の権利』といって、この条約ではじめて認められたものが挙げられる。第12条 意見表明権、13条 自由に表現する権利、14条だ。17条では、意見を言ったり表現するためには、子ども自身にも適切な情報にアクセ

スする権利があると定められていて、これらがセットとなっている。子どもたちはこんな自由があるよと言われても、ちゃんとした情報を得られていないから言いたいことが言えないということが多いと思う。わたしがこのことを体験した最初のきっかけは、インドのNGOがストリートチルドレンに対して、「みなさんの自治体ではストリートチルドレンのための予算がこれだけ与えられています」という情報を提供していたことだった。そうした適切な情報を十分にアクセスできる権利を子どもたちに保障しなくてはならないし、子どもたちが求められるようにしなくてはならない。

『第15条 子どもがグループをつくったり、会議を開いたりする権利』があるが、これも残念ながら日本の大人に嫌われている、認めたくない権利のトップだったりする。親や学校の先生などには、子どもに対する不信感があり、子どもが集まったら何をしでかすかわからないと考える大人が多い。しかし、こうしたことも保障しなければならない。

子どもであっても親が経済的に厳しい状況に陥ったら国から社会保障が受けられる権利があることを知っておくと、親が言い出せなくても、子どもが児童相談所に行ったり、スクールカウンセラーに話したりできる。なかなか子ども自身、親が仕事を失って困窮している状況であっても、人に相談できないことが多い。そういう時に、大人が相談に行っていんだよという根拠となるのが26条と27条。どんな子どもであっても必要最低限の生活が保障されなければならないという権利が書かれている。

子どもの権利とSDGs

子どもの権利条約とSDGsとの関係性をみると、『第39条 被害に遭った子どもは回復するためのケアを受ける権利がある』と、子どもにやさしいまちづくりはSDGs10.7に関係している。安全で責任のある移住、つまり移住してきた人たちが安全に暮らせること。政府自治体が責任のあるサービスを提供するということなどにも関係性がある。

マイノリティの子どもの権利について

今日のテーマのマイノリティの子どもの権利では、差別の禁止において、毎回日本政府に対して国連子どもの権利委員会が勧告を出している。マイノリティの子どもたちへの差別がきちんと解消されていない、もっと措置を取るべきだという勧告を日本政府が受けていることを知ることとても大事で、これもテコにすることができる。

教育を受ける権利の中には、日本語教育プログラムなども入っている。大事なのは、すべての子どもは教育を受ける権利を持っているということ。この権利の目的には、多文化の大事な点を教えてもらえることや人権教育、ジェンダー教育も入っている。子どものセクシュアル&リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性的自己決定権）なども含まれている。

さらには、世界中で移住する子どもが増えてきている中、2017年に移住する子どもの人権に関する国際文書が採択された。これは子どもの権利条約一般的意見23号というもので同条約を補足する文書である。そこには**移住者である子どもに対する差別を解消すること、教育上の障壁をなくすこと、ジェンダーに配慮した対応をすること、言語教育（日本でいえば日本語教育）、母語教育の機会を提供すること**等が定められている。**公式、非公式な学習機会の提供**も定められており、日本では、夜間中学がなくなっている現状があるが、むしろ夜間中学校は継続・増設しなくてはならない。**子どもの権利に関する教員研修の実施**も定められている。

子どもの権利条約とSDGs

第39条 被害にあった子どもは、心身の回復のためのケアを受け、社会復帰できるように支援を受ける権利があります SDGs 3

第40条 法に触れた子どもは、適切な支援を受け、やり直すためのチャンスを受ける権利があります SDGs16.3

日本のマイノリティの子どもとSDGs

- ◆ 差別の禁止 子どもの権利条約第2条 SDGsゴール5、10、3(差別的な法律、政策、いやがらせをなくす)
- ◆ 教育を受ける権利 第28条 SDGs 4.1 4.5(平等な教育)
- ◆ 子どもの親、子ども自身の文化的アイデンティティ、言語および価値の尊重、子どもの出身国の国民的価値の尊重、性教育、多文化教育、人権教育 教育の目的 第29条 SDGsゴール4、ゴール5
- ◆ 子どもの意見表明権 第12条 SDGs16、7(誰もが意思決定に参加できる)
- ◆ 子どもに対する暴力をなくす 第19条 SDGs16、2
- ◆ 子どもにやさしいまちづくり SDGs10、7(安全で責任ある移住)、11、7(すべての人がハラスメントを受けることなく公共スペースを利用できる)
- ◆ マイノリティの子どもとSDGs 第30条 SDGsゴール4



マイノリティの子どもの権利 国際的移住の子どもの人権に関する一般的意見23号 (2017年)

- * 移住者である子ども(migrant children)に対するいかなる差別も解消するとともに教育上の障壁を克服するための適切なジェンダーに配慮した対応をとらなければならない。
- * 必要な場合は、追加的な言語教育、スタッフの加算、異文化支援などの措置をとらなければならない。
- * 公式、非公式な学習機会の提供、教員研修の実施、およびライフスキル学級の設置もすべき

2. 世界の子ども コロナ禍における子どもの状況

- ユニセフの警告(2020年4月3日)
- ◆ コロナ危機は、子どもの権利の危機
- ◆ すでに暴力、搾取、虐待の危険に晒されている子どもたちは、さらに脆弱になる。
- ◆ 孤立していると、家庭やオンラインで暴力に直面している子どもたちは助けを得にくくなる。
- 日本でコロナ以前から増加し続けているポルノ被害
- ◆ 2019年 子どもポルノ被害者、過去最高に
- ◆ 被害に遭った子どもは1559人で前年より283人多い(朝日新聞2020年3月13日付)
- ◆ 事業者は少女が16歳・17歳の頃からリクルーティングを行い、言葉巧みに操り、支配従属の関係を作ったうえで、18歳になったタイミングでアダルトビデオへ出演させるよう狙っている。
- <https://weezzy.com/archives/28558>
- 参考図書: 斎藤章佳『小児性愛という病 それは愛ではない』(ブクマン社)

ユニセフはコロナの感染が昨年拡大し始めた際に、もともと子どもの権利の危機があったが、コロナ危機でもっとひどくなってしまった。特に暴力を受けている子どもはさらに受けやすくなるだろうし、孤立していることによりオンラインで暴力に直面している子どもたちは、助けを得にくくなるのではないかと警告を鳴らした。そして実際に増えているのが、ポルノ被害。2019年も過去最高になった。実際に小学生も被害

に遭っている。調べたところ、自撮りの問題や、グルーミングといってゲーム等を使って、大人が子どもをねらって仲良くなることも非常に増えていることがわかっている。

■ 国連子どもの権利委員会 新型コロナに関する声明

(2020年4月8日)

(参照: 日本語訳/平野裕二 <https://w.atwiki.jp/childrights/pages/327.html>)

- ① 子どもの権利に及ぼす社会面、情緒面、経済面、レクリエーション面の影響を考慮すること
- ② 子どもたちが休息、レクリエーションおよび文化的、芸術的活動に対する権利を享受できるようにすること
- ③ オンライン学習が、すでに存在する不平等を悪化させないようにすること
- ④ 栄養のある食事が提供できるようにすること
- ⑤ 子どもたちへの保健ケア、衛生など基礎的サービスを維持すること
- ⑥ 専門家による精神的保健サービスを提供すること
- ⑦ 脆弱性がいっそう高まる子どもたちを保護すること
- ⑧ あらゆる形態の拘禁下に置かれている子どもたちを解放したり、家族との定期的接触を維持できるようにすること
- ⑨ 新型コロナに関連する国の指導および指示に違反したことを理由に子どもを逮捕・拘禁しないようにすること
- ⑩ 新型コロナ、感染予防法に関する正確な情報を移住者を含む子どもにアクセス可能な言語および形式で普及すること
- ⑪ 今回のパンデミックに関する意思決定プロセスにおいて、子どもたちの意見が聴かれ、かつ、考慮される機会を提供すること

これは世界中の問題だが、国連子どもの権利委員会も4月に11項目の声明を出している。このうちの7項目目のすごく危険に遭いやすい状態の子どもが一層危険にあってしまうという警告で、そういう子たちを保護しなくてはならない。そして、今回のコロナに関しても意思決定プロセスにおいて、子どもたちの意見がしっかりと聴かれなくてはならないということも子どもの権利委員会は声明に含めている。

コロナの結果、世界中の子どもたちが様々なサービスを得られなくなっていて、健康被害を受けたり、ソーシャルワーカーによる家庭訪問が減ったり、休校によって教育が受けられなくなったり、栄養不良に陥ってしまっているということが世界で起きている。

子どもに対する暴力も、性的搾取等、ネット上のものが増えているので、プロバイダーはもっと安全なオンライン教育やネットの安全に関するアドバイスを提供すべきだと言われている。

中でも、女の子に対するマイナスの影響が顕著に表れていて、家事労働が増えたり、学習ができなくなったり、給食が得られないのも女の子の方が多く、友達に全く会えなくなったという割合も女の子の方が高くなっている。

参考：

- 世界の子どもコロナによる保健・社会サービスの中断の影響（140カ国におけるユニセフの調査）
<https://www.unicef.or.jp/news/2020/0238.html>
- 共同声明「子どもに対する暴力：COVID-19の世界的大流行に隠された危機」
(子どもに対する暴力撤廃 (GPeVAC)事務局、ユニセフ、WHOなど21機関)
<https://www.unicef.or.jp/news/2020/0077.html>

シーライツが支援しているカンボジアの子どもたちの親の多くが日本にも輸出されているGAPやGUの衣服、アシックスの靴などの工場働いているが、コロナの影響でそれらが閉鎖され、収入が減っ

たり、仕事がなくなったりして、非常に食料が足りなくなった。また、学校がなかなか再開されないなど教育の機会が奪われている。解雇された人たちは、補償金を払ってもらえず、抗議運動なども起きている。

支援している子どもたちからは、携帯電話を使ってオンラインで学べるようになりたいといった声が聞かれるようになった。

昨年12月に開催された滋賀県の子ども県議会では、授業や学習での電子機器の活用をもっときちんとして

ほしいという意見を小学生が発言していて素晴らしいと思ったが、世界中で、オンラインでの教育をもっと望む声があるんだとカンボジアでも感じた。



カンボジアの公立の学校はずっと休校が続いているが、右の写真の学校はシーライツが運営している非公式な教育活動だが、英語教室を再開したところ、多くの子どもたちが集まった。なるべく3密にならないようにしたいところではあるが学ぶ機会を提供したいと考え、学用品の支援もしながら教育活動を再開している。



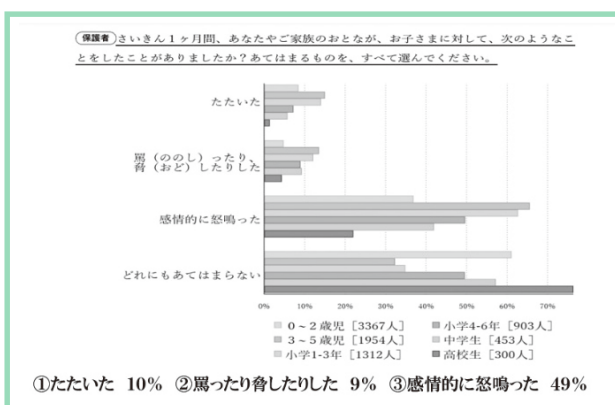
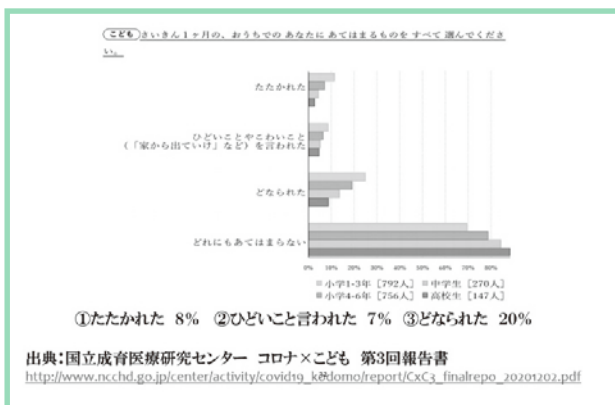
コロナ×こどもアンケート 第4回調査報告書より

先ほど申し上げたようにアーユスの助成金を得て、コロナ禍の子どもたちの声を聴くプロジェクトに取り組んだが、第一に、日本全体で健康そうに見える子どもたちにとってもストレスが溜まっていることが調査によってわかる。2月に第4回調査報告書が発表された。国立成育医療研究センターのサイトからぜひ報告書を手にしていただきたいと思う。

参考：みんなのこえて みんなをげんきに コロナ×こどもアンケート 第4回調査報告書

https://www.ncchd.go.jp/center/activity/covid19_kodomo/report/CxC4_finalrepo_20210210.pdf

本当にひどい場合は、自殺念慮がひどくなっている。これは報道されているが、コロナによって、若い女性と子どもの自殺が実は増えている。滋賀県の場合も、10月末までに6人の子どもが亡くなっていて、例年に比べて倍増しているという記事が出ていた。いろんな理由で自死を選んでしまう子どもがいると思うが、なかなか子どもたちは悩みを外に出せないで気づかないままになっていることも多いと思うので、こうしたストレス症状を、ちょっとしたことで気づいていくことが大事だと思う。このサイトでは、ストレスに対するコーピング、どうやって対応していったらいいかというヒントも載せている。



これは、子どもたちはコロナになって、どういことが増えたかということへの回答だが、叩かれたり、ひどいことを言われたり、どなられたりしたことが増えた、この報告書には載っていた。

親への質問においても、感情的に怒鳴ってしまったという親が49%もいたということだった。

こういった安心でない家庭でしんどい思いをする子どもたちというのは、もともとお父さんからの暴言や罵倒などもあったかもしれないが、学校に行くことによって、あるいは放課後に友達と外で遊ぶことで逃れることができたのだが、これだけ外出自粛が続くと、がまんしてずっと家にいなくてはなくなる。さらに、虐待、身体的虐待、言葉の虐待だけでなく、性的虐待のケースが急増している。残念ながら、父親からの性虐待についても報告されている。父親が在宅勤務となり、そこから逃れられなくなることが起きている。一昨

日だったが、BBCでもそうした報道がされており、私はFacebookでもシェアしたが、そうした子どもたちが声をあげて相談できる場所が必要だと思う。

参考：チャイルドラインに寄せられた新型コロナに関する子どもの声

https://childline.or.jp/wp/wp-content/uploads/2020/05/covid19_voice01.pdf

ジェンダーの問題と子どもの権利の問題というのは非常に密接に関わっていて、お母さんから虐待を受けている子どもたちは、いかにそのお母さんたちが追い詰められて、孤立化しているかが大きな問題となっている。特に、ワンオペ。2月11日にワンオペのつらさによって、生後7か月の乳児をマンションの上から落としてしまった女性の裁判があったみたいだが、そういった子どもが追い詰められた母親から虐待を受けないように、親への支援が非常に大事になってくる。子どもが何も言えないときに、「いつでもここに相談していいんだよ」という必要な知識を伝えておくことで、子どもたちが声を発することができるようになる。まだまだ日本では広がっていないが、『子どもアドボカシー制度』という子どもたちの声を聴く人をたくさん増やして、いつでも子どもが相談できるような窓口を作ることが大事になっている。

困窮化する子どもたちの中には、やはりシングルマザーの家庭の子どもたちがすごく多く、経済的にしんどい状況。「しんぐるまざー・ふぉーらむ」への相談件数も非常に生活困窮が増えていて、一日一食しか食べない日を作って、風呂や水道を使わないようにしている中で暮らす子どもたちがいるということ。そのような中で、この子どもたちを社会全体できちんとケアできるかということだが、残念ながら、コロナの中、社協で貸し渋りがあったということで、「しんぐるまざー・ふぉーらむ」などが中心となって運動を起こしたりしている。

外国にルーツを持つ子どもたちについては、これまでに国際教育ワークショップで何度か取り上げられているので、簡単にとどめるが、言葉のできないお母さんたちが、大変な状況の中で子どもたちも孤立化している。

3. 日本の子ども

1) 在宅勤務と外出自粛が及ぼす母親と子どもへのストレス

1. 負担増・追い詰められ、孤立化した母親の影響を受ける子ども

- ① ワンオペの母親に学校の負担、家事育児負担のしかりストレス増加 休校中、母親が宿題と昼食
- ② 父親の在宅による暴力、面前DV 子どもの遊ぶ権利
- ③ 母親のストレスと孤立が児童虐待のリスクへ
- ④ 子どもは外出しにくく、逃げ場がない（休校中の5月は、学校で発見できないせいか、児童虐待の相談件数が減ったものの、6月は昨年度比10%増）

子どもに必要な知識

- 子どもへの虐待 身体的暴力だけでなく、言葉の暴力、親から親への暴力（面前DV）社会全体のジェンダー規範、性別役割意識を変えるためのジェンダー教育、マスコミ啓発、父親への啓発
- 虐待を受けたら相談できる窓口
- 社会に必要なこと
- 子どもが声を上げられる子どもアドボカシー制度（アドボケイト養成と仕組み）

3. 1) コロナで経済的困窮に陥るシングルマザーの子どもたち

- * シングルマザーの半分以上が非正規労働。貯蓄がない母子世帯は35.4%。
- * 4月の緊急事態宣言後のウェブアンケートで、「コロナで収入が減る」59%、「収入がなくなる」11%の回答
- * 収入減の上に出費増
- * 4～5月 しんぐるまざー・ふぉーらむへの相談件数の6、7割が生活困窮
- * 「1日1食しか食べない日をつくり、風呂や水道も使用しないようにしている」「子どもたちも私も1日1食になりました」「何も食べるものがありません。子どもたちは水で空腹をしのいでいます」
- * 地域の社会福祉協議会は「貸し渋り」
- * 緊急支援 低所得のひとり親世帯に 臨時特別給付金 児童扶養手当の増額
- * 非正規のひとり親に雇用が戻るのが一番最後。ひとり親に安定した仕事を
- * 長期的には、賃金の格差縮小

出典：

赤石千衣子(2020)「ひとり親の困窮 ～コロナによる影響の深さ」日本子どもを守る会編『子ども白書2020』、かもがわ出版
シングルマザーサポート団体全国協議会ホームページ
https://www.single-mama.com/topics_council/200628_19/

コロナ禍におけるマイノリティの子どもの状況

3. 2) 外国ルーツの子どもたち

■ 母親にかかる負担(高校教員より)

オンライン授業による困難さ、外国につながる子どもたちは言葉の問題を抱えているので、教室であれば隣に座っている友達に教えてもらうことが出来るが、オンラインではそれが出来ない。

オンライン学習の場合、外国につながる子どもたちは親が日本語が出来ない場合には、自宅で親に勉強を教えてもらうのは難しい。親(母親)が家庭学習をフォローすることは出来ないし、親としての自信をなくすこともある。教室であればできる個別の対応が出来ない。

あるインドネシア人の母親

1. 緊急事態宣言で家から出られず、子どもがずっと家にいたときは、ストレスがあった。
2. 子どもには、周りに日本の友達がいなくて寂しい。
3. また、休校で子どもたちがずっと家にいて生活費が増えた。
4. 子供達に熱があっても、クリニックに断られる。

■ 定時制高校の教員

JFCの子どもは経済的に大変。兄弟が3人いて他にも知人が同居している。親の仕事が不安定なので、学校にも集中できず、欠席や遅刻が増えている。もともと欠席が多かったが、コロナによる臨時休校でさらにペースが乱れてしまった。親とも仲が悪いので自宅にも帰りたくないようだ。JFCの家庭は複雑なケースが多い。

■ 夜間中学の教員

コロナで通学できなくなった子どもが多く、閉校の危機。

映画「こんばんは!!」

■ 各地のフィリピンバブでクラスター感染

■ 親の失業、定時制の高校生アルバイト失う 経済的に困窮

■ ブラジル学校や朝鮮学校存続の危機

コロナによって学校やコミュニティ行事が開催できず、資金づくりができない。ブラジル学校が閉鎖になることで教育を受けられなくなる。ブラジル学校では週に2時間しか日本語を学ばないため、ブラジル学校が閉鎖になっても、すぐに日本の学校に移れるわけではない。学力がない場合が多く、不登校の子供たちが大量に生まれようとしている。PCはおろかスマホも持っていないので、オンライン学習も難しい。

LGBTQの子どもたちには、まず親が無理解であることから、その家族と一緒にステイホームするのがしんどい、つらくて仕方なくて自傷行動がやめられないという子どもたちがいる。休校中は学校の先生に相談することもできず、親が家にいなければ、自由にLGBTQの子どもの居場所に行くことができたが、親が家にいると、どこに行くのと聞かれて、親にカミングアウトできていない子どもにとっては嘘をつかなくてはならない負担がある。「NPO Ship」や「にじーず」の遠藤まめたさんに聞き取りをした際にも、親にカミングアウトしていないから、居場所に行って、もしクラスター感染に遭うなどして、ここに来ていることがわかり、親にばれてしまうことが怖くて、居場所に行けなくなったとか。

■ LGBTQの居場所「にじーず」の遠藤まめたさんに聞き取り

- ・コロナになり、にじーずを3月から5月まで閉鎖。
- ・ふだん30人ほどの参加があるが、開室後も6、7人に減少
- ・参加者の半分は、親にカミングアウトしていないために来られない。

◆ 不安や悩み

- にじーずで感染したら、LGBTQであることが親に知れてしまうのが怖い。
- ・もし感染したら、医療機関でLGBTQがわかってしまうのが不安。
- ・テレビ番組で面白半分にはLGBTQが扱われるのを家族で見るといじられる。
- ・親と過ごす時間が長く、「頭がおかしい」「気持ち悪い」と言われる。
- ・友達に会えなくて寂しい。
- ・オンライン相談も居場所も親が在宅だと難しい。心配な子どもは、個人的なやりとりでフォローしている。
- ・ホルモン注射を打っているが、感染すると何か影響が出るのか。



にじーずは、渋谷、さいたま、札幌、新潟、京都で運営

コロナ禍における子どもたちの状況

3. マイノリティの子ども 3) LGBTQの子どもたち

■ プライドハウス東京による緊急アンケート調査「LGBTQ Youth Today」 (2020年5月11日から6月14日 12歳から34歳 有効回答数:1654名)

- ① セクシュアリティについて話せる人・場所とつながりなくなることによる困難
- ② 無理解な家族・同居者とステイホームすることによる困難
事例:家にいるのがしんどい。自傷行為がやめられない(10代後半 MtX)
- ③ 休校やオンライン学習で見えない新学生生活、今後の進路・将来への不安
事例:学校にセクシュアルマイノリティに対する配慮について相談したいが、できず、不安(10代後半 FxX)
- ④ 感染時の対応や医療アクセスに関する不安

■ NPO Shipへ聞き取りなど

- 居場所に出かけるときに、家族に嘘をつかなくてはならない。
- 外出自粛で親と過ごす時間が長くなり、ストレスを感じている子は多い。出かけようとしたら「どこに行くの?」と聞かれ困っている。

■ Pride House Tokyo「おうちでカラフルトーク」Zoom⇒Youtube

LINE相談の中で、これは困窮している若者を支援する団体だが、LGBTQの子どもたちからの悩みに「にじーず」スタッフが回答したり、ツイッターで質問箱を設置したり、Yay!という若者に人気のアプリで相談を受け付けたりしている。

「ASTA」という名古屋のNPOでは、LGBTQの啓発活動をしているが、オンライン交流会を開催していて、私も参加したが、オンラインとはいえ対面でLGBTQの人と話せるので理解が深まる体験ができた。同じよう

親と過ごす時間が長くて、親がトランスジェンダーの自分のことを「気持ちが悪い」、同性愛なら「頭がおかしい」と言われることが本当につらいと話す子どもたちがいるということだった。

外出自粛前後で、学校以外の相談場所をいかに確保するかということ。やはりオンラインでのアプローチが大事になってくのではないかと感じた。実際にオンラインで子どもからの相談を、「にじーず」はいろんな形でやっている。ラジオ保健室や「NPO・D×P」という

コロナ禍における子どもたちの状況

3. マイノリティの子ども 3) LGBTQの子どもたち

◆ オンラインで子どもたちからの相談受付

- ① にじーずラジオ保健室(ツイキャス ラジオトーク)
- ② NPO・D×PのLINE相談内でLGBTQの子どもたちからの悩みに対して、にじーずスタッフが回答。
- ③ ツイッターで質問箱を設置して回答。Yay! (同世代がつながるアプリ)で相談受付。

◆ オンラインで交流

NPO法人ASTA(名古屋)、NPO法人ReBit(東京) いずれもオンラインで交流会やワークショップ開催
クラウドファンディングで先生のためのLGBTに関するオンライン情報センター(Ally Teacher's School)を開設(2020.8.17) にいっしょに子ども応援団

◆ 子どもたちが相談話を聞いてもらえる身近な存在になる(家族や先生、地域のおとな)

- ★ 子どもの状況は地域の人でないと把握できない。
- ★ 子ども食堂など地域の活動との連携、社会資源の活用が大切。
- ★ にじーずは、埼玉でパンフレット200部を子ども食堂を通じて配布。



に「ReBit」でもオンラインでのワークショップの開催や先生のためのオンライン情報センターを開設したりしている。

なかなかそういう居場所に来られない子どもたちには、子ども食堂などで理解のある大人が一人でもいると、すごく相談しやすくなるので、「にじず」は、このようなパンフレットを配布しているということだった。

最後に、コロナの影響による性被害の増加を挙げる。最近だが、悲しい事件があった。スーパーのトイレで高校生が出産し、赤ちゃんを殺してしまって逮捕されたというもの。もしかすると、望まない妊娠をしてしまった可能性があるのではないかと考える。様々な家庭に居場所のない10代の女の子が行き場を失って、SNSで知り合った相手から、性被害に遭うリスクが高まっていると、様々な団体から報告されている。

「ぱっぷす」という若い女性に対して相談対応している団体は、相談件数が急増し、中学生からも相談があるそう。交際中の男子や男性から裸の画像を求められ、それを販売されてしまったと。ポルノハブというアクセスの高いサイト上で販売され、自分が写真を送ってしまったから自分がいけないんだと思ってしまい、だれにも相談できずに一人で悩んでいたところ、「ぱっぷす」に相談してきた。多くの場合、加害者の中学生、高校生など若い男性はゲーム感覚の軽い気持ちでやっている。それを女の子は、自分が悪いんだ、どうすることもできない、相手からは「訴えても君が逮捕される」と脅される。「いやそれは違う、悪いのは送らせた方、売った方であり、あなたは絶対悪くないから警察に訴えてよいのだ」と伝えたと、訴えようという気持ちになってエンパワーされる状況になると話していた。

参考：NPO法人ぱっぷす (<https://www.paps.jp/>)

そういったポルノ被害だけではなく、家の中で望まない性行為をして、妊娠をしてしまったという事例もほかの団体への聞き取りで分かってきた。彼氏に大丈夫と言われ、コンドームを装着せずにやってしまうということもこのコロナ禍で浮かんできたこと。家に居場所がなくて、どこか泊めてほしいと家出して、性的搾取に遭うことも報告されている。

参考：コロナ禍で浮かんだ日本の性教育の欠陥 中高生の妊娠相談急増、子ども責める前に考えて (2020年6月8日付) <https://news.yahoo.co.jp/articles/e37e267c24053cb84586937f454d861c6becc2ec>

まとめとして、さまざまなストレスが高まり、親の負担が増えたために虐待や、父親の在宅による暴力が増えてきている、生活苦、経済苦による大きなストレスを抱えている家庭も多い。外国ルーツの子どもの母親の負担増、言葉の壁があって社会的に孤立している。LGBTQの子どもたちは、親にも言えなくて、居場所に行けなくて、やはり孤立している。そして、性的暴力を受けている子たちも、望まない妊娠、性行為をしてしまった後に自分を責めてしまう、だれにも相談でき

まとめ 日本の子どもへのコロナの影響

1. 不安や生活困難のストレス 虐待のリスクの高まり 母親への負担増・追い詰められ、孤立化
 - 1) 母親の学校の負担、家事育児の負担増。母親のストレスと孤立が虐待リスクへ
 - 2) 父親の在宅による暴力、面談DV、性虐待のリスク
 - 3) 経済苦と孤立による精神疾患、特にシングルマザー、自殺のリスクも
2. 外国ルーツの子ども
 - 1) 母親の負担増に加え、言葉の壁、社会的孤立
 - 2) 経済苦
3. LGBTQの子ども
 - 1) 居場所にいけない、相談できなくて孤立、SOGI発覚の不安
 - 2) 親と教員の無理解
4. 性的暴力を受ける子どもたち(少年も被害に遭っているが圧倒的に少女)
 - 1) 家で過ごすことによるデートDVによる妊娠
 - 2) オンライン活動が増えることによる自撮り被害、ネットの性的搾取の増加
 - 3) 家にいられない、ネットカフェにいられないことによる家出などの性的搾取

ないという状況にある。

コロナの影響を解決するキーワードとして、「孤立」と「相談」がある。「孤立してしまう子どもたちがいかに相談窓口を見つけていくか、周りからどんなときでも相談していいんだと、自分の困ったとき、人権侵害を受けたと思った時には訴えていいんだと言えるようになること」だと思う。

それをどうやって、子ども自身が、また大人がやっていけるか。子どもの権利をテコにできるということを知らせていけるか、教員として

大人としてできることをここに挙げてみた。ここからは、みなさんに自分だったら、どんなことができるかな、自分はやってみたということをグループ内のメンバーにシェアしてもらえたら有意義なグループディスカッションになるのではないかなと思う。子どものグループには、子どもの権利を知って、使って考えたことがあるか、行動したことがあるかについて話してもらいたい。子どもにも大人にも聞いてみたいのは、自分が人権侵害に遭ったら、友達や仲間、生徒や児童が人権侵害に遭ったように思ったときに、子どもの権利をテコにすることはできそうですか？という点で話し合っていたきたい。

子どもが子どもの権利をテコにできることを知らせる 子どもの権利条約・子どもの権利条例を使う

■教員として・おとなとしてできること

- 学ぶ権利は子どもの権利では本来保障されている。諦めないで自治体やNGOのサービス・支援を探す。
- サービスや社会保障を要求・請求することは「わがまま」ではなく、当然の権利。
- 子どもが相談できる人、相談窓口を探す。(子どもアドボカシー制度)。
- LGBTQ(SOGI)の知識や外国ルーツの子どもの権利研修の機会を増やす(スクールソーシャルワーカーや親も含める)。
- 子どもの貧困問題に取り組むNPO、LGBTQの子ども支援NPOや外国ルーツのNPOとつながる。
- ジェンダー教育、セクシュアル・リプロダクティブヘルス/ライツ(SRHR)教育、性的同意や性的自己決定権を教える性教育
- 女子生徒には、被害に遭ったら、警察に訴えていいことを日頃から話しておく。求められて裸の写真を送っても、悪いのは送らせた相手の法であり、逮捕されるのは相手。被害女子を責めるようなことは絶対しない。
- 彼女の裸の写真を販売すると逮捕されるなど、男子生徒への啓発や教育の機会を増やす。

3. グループディスカッション (25分間)

【話し合いのテーマ】

■子どものグループへ

これまで子どもの権利を使って考えたこと、行動を起こしたことはありますか。
子どもの権利をテコにすることはできそうですか。

■おとなのグループへ

これまで子どもの権利を使って考えたこと、行動を起こしたことはありますか。
これまでの話を聞いて、子どもに対する接し方を変えようと思ったことはありますか？
子どもの権利をテコにすることはできそうですか。

4. グループ発表 (20分間)

グループ1

- 主に外国につながる子どもたちの学習支援をしていたり、団体だったり、国内外の学校に行けない子どもたちのケアをされている方、教員がメンバーだった。外国ルーツの子は、子どもの権利の中で「教育を受ける権利」、教育保障から抜け落ちている。学校現場でなく地域でサポートしている実態がある。本当は、教育現場できちんと保障されなくてはならないのではないかと話していた。あと、子どものアイデンティティ。外国ルーツの子どもは多様なルーツを持つ。父母の国が異なっていたり、例えば自分自身が日本生まれのブラジルの子だと、自分の文化はなんなのだろうかと悩むので、子どもの生育の中でアイデンティティをきちんと保障するということが必要なのではないかということ。



- 教育現場では、小中は義務教育だが、高校に上がる子どもたちも増えていて、高校の中での子どもの学ぶ権利が、滋賀県の中での話になるが、どのように保障されているのかという話が出た。

グループ2

- 教員経験者が多かったので、学校の中でどのように取り入れられているかという話をした。そもそも小中高と教育を受けていく中で、『主権者教育』の機会がないのではないかという話が出た。取り上げることが良しとされていないと学校の中で考える人がいるから、取りあげられていないのではないかという話が出た。
- そもそも学生運動が盛んな時もあったのに、今の学校教育の中では主権者教育ができていないのは何でなのか、残念に感じる場所があった。



→ 本当に主権者教育は子どもの権利の教育とまさに重なるところで、子どもたちが権利を使っているんだと思える教育なので、もっともっと広がっていくべきだと思うし、自分もこれからつながっていきたくて思っていた。特に、高校生が政治に関心を持った時に、先生に呼び出されてとがめられたという話が、私たちの25周年イベントのときに出てきてびっくりしたことがある。スウェーデンではどんどん政治教育をやっていて、投票率も8割9割と高くなっているので、ぜひ主権者教育には力を入れていきたいと思う。

グループ3

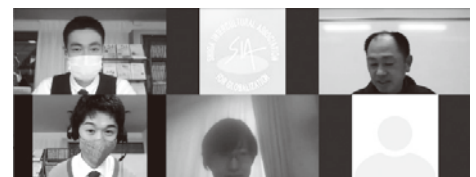
- コロナ禍で小学校では週1回児童を集めて、プリントを配って勉強しておいでという状況だった。外国ルーツで日本語能力が今一步の子どもたちにとって、全く何もできなくなってしまう状態にあった。そこにどうアプローチしていくか。日本人の子どもたちが学校に来ていない中、外国ルーツの子どもたちだけ学校で講師と勉強する取り組みをした。リモート学習でも、ITやパソコン、タブレットなどを持っていない家庭も多いので、どうアプローチしていくのか。行政、学校にどのようにアプローチしていくのかという話も出た。
- コロナでパートの雇止めがあった。たとえば、外国人エンジニアの配偶者で家族滞在の在留資格をもつ方だったり、ブラジル出身の共働きの夫婦の場合は、女性側だけが雇止めに遭うことが多い。女性は家にいて、男性が外で稼いでくるという状況。だんだんと暗くなっていく。そうした人たちにどうアプローチしていったかという話をした。



→ ジェンダー差別・不平等が、子どもたちにも影を落としているということだと思う。

グループ4

- LGBTQの話になった。まだまだ理解が進んでいなくて、知らず知らずのうちに当事者を傷つけているかもしれないので、常に多様性を意識することが大事だという話になった。
- 教員の中には、NPO法人や保健師さんから生徒が話を聞く機会を設けて、自分の性や体を大切にすることを聞かせてもらったという話があった。
- 大人の自分としては、いつカミングアウトされても受け止められるような自分自身でありたい。



- 子ども自身が子どもの権利の主体であって、いろんな支援を受けられるというのは、自分の子どもの頃に知っておきたかったという話になった。大人になってから、いろんな子どもたちを目にしていると、そのことを子ども自身が知っておくことが大事で、いろいろな情報や支援に簡単にアクセスしやすくしていかななくてはならないという話が出ていた。

→ 自分自身が知りたかったというのはもっともだと思う。本当に、子どもの権利についての情報にアクセスしやすくするというのは大事なことだと思う。

グループ5

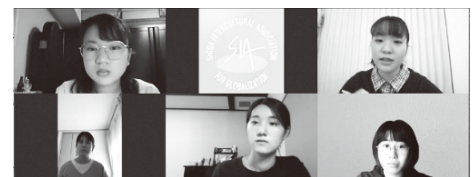
- 教育と福祉のNPOを最近立ち上げた方、大学、高校の教員の方々がメンバーだった。高校大学でもオンラインで担任の先生の顔もわからないまま課題が与えられていたり、いきなり学校が始まっている状態であったり、学生からオンラインで相談があっても、どこまで踏み込んでよいのかわからないということだった。
- 教育と福祉のNPOを立ち上げた方からは、学校にアプローチしていきたいが、どのように切り込んでいったらよいか、どのように連携していったらいいかわからない。教員も忙しいので、マンパワーも不足していて、情報不足の状態もあり、ニーズはあるのだろうが、どのようにつながっていけばよいのかというのが難しいところ。
- 大人も教員も子どもも、それぞれが精いっぱいでは他の人にまで目がいかない状況の中、子どもたちが取り残されているのではないかと。コロナの中で孤立しているのは、いびつな関係になっているのかと感じている。
- 意識していなくても子どもの権利条約について考えたり、行動していることはあるなど。テコにすることはできそうかという点では、ちゃんと子どもの権利の中身をあたためて確認し、できていること・できていないことを見直して、そこから行動を起こすことができるのではないかと。

→ まずは知ることからが大事。情報を子どもや教員に伝えていくところには予算が必要で、子ども基本法ができれば予算が付くので、予算と人手を満たしていくことにつながればよいと思う。



グループ6 子ども（高校生・大学生）のグループ

- 今日まで自分たちの権利が侵害されていると考えたこともなかった。こうしたことは権利侵害だったのではないかと話をした。特に制服は理にかなったものなのかと疑問に感じている人が多かった。
- たとえば制服は、性別的な役割を固定観念として植え付けることにつながるし、マイノリティの生徒にとっては、すごく苦しい空間になってしまうもの、助長するものになっているのではないかと考えた。
- 全体としてどうすればよいかについては、学校、家庭、地域やメディアでも情報が入ってくるので、そうしたところを生かして、子どもだけでなく大人や先生、地域の人も学んでいけばよいのではないかと考えた。
- 学校で取り組めることとしては、授業参観で性の多様性や多文化共生について学んでいくこと



で、子どもと親が家庭でも話し合う機会になるのではないかな。

- メンバー内の大学生でサークルやゼミで小学校を訪れて社会問題を教える機会がある人がいた。また、生徒が劇をすることで互いに社会問題を考える機会を作っている学校もあるという話があったので、そうしたことは取り組んでいけるのではないかなと思った。
- テコを利用していけるかという点では、今日学んだことを直接友達に話していくというのは、なかなか難しい。今日気づいたことも、政治的なことや性のことも話すことがタブーとされている雰囲気があるので、なかなかすぐに話していくことは難しいが、そんな中でもボランティア活動をしたり、SNSで発信していけるのではないかなと話していた。

→ 大事なことを話してくださった。制服はジェンダーを固定化するものだと思う。私がかかわっているネパールでは、制服はみんなズボンである。これは、理由の一つにスカートだと性的虐待を受けやすいということがあり、女の子でもズボンで通っている姿を見て、よいなと思った。どちらかを選べるようになっていけると、男の子がスカートを選べるようになる。性別も夫婦別姓もそうだが、**自由に選択できるようにしておくことが大事**かなと思う。

学校やメディアで情報を発信していくこと、授業参観で話していくこと、友達と話をすることは難しいと本当に思う。わたしも大学生のころからボランティアにかかわるようになったが、それまで話していた友達と急に話が合わなくなったことがあって、日本の社会では、学校や社会でも、まじめなことを話すことに対して、今でいう「まじめか！」っていうように言われることがあるかなと思う。本当は、すごく大事なことになるのに、まじめなことを話さないで、楽しいことだけを話すことがいいという風潮も打ち破っていったらなと思う。そういう点が不登校になる原因ということもある。フリースクールだったら、どんな意見であっても言える、だからも揶揄されない。政治と性に関してはタブーとされているというのはおかしいことで、政治はこの社会をどうしていくかという当たり前のこと、性は人が生きていくために必要で、人を愛するということであり、人生にとっても重要なことになるのにタブーとされている。知りたいと思ったときにネットで調べて、それが暴力的

なポルノビデオなどだったりすると、それから学んで、子どもたちがデートレイプをしてしまうということもあるので、ちゃんとした性教育、性の自己決定を学ぶ教育が学校で必要だと思う。

高校に入りボランティアを始めた高校生と話した際に、ボランティアをすることでそうした話ができるようになったと言っていた。本当は学校で話せることが大事だと思うし、先ほどどこかのグループで、高校の図書館で居場所カフェができて、子どもたちが悩みを話したり、いろんな意見が言えるようになっていっているというのは大事だと思う。今、コロナでなかなか難しい状況になっていると思うが、また収束したら、全国の図書館や保健室がそうしたカフェのようにいろんな話ができる場所になったらいいなと思った。

あと、友達と話すが難しくても、SNSで発信することは子どもでもできると思う。今は誰でも発信者になれるので、今日子どもの権利を知って、こんなふうによかったよということがあれば、皆さんにも発信してもらいたい。私もFacebook、ツイッターなどでよく発信している。三女をマンションから落としてしまった女性の判決のことと、スーパーで出産した高校生が逮捕されたことについてもっと相談の場を増やそうという思いから、Change.org（チェンジ・ドット・オーグ）という署名活動をするサイトに関してUPした。ツイッターでは、大津市の幼稚園の子どものカミングアウトを市がアウティング（公表）してしまったという例が

回ってきていたのでシェアした。LGBTQの啓発をしている「ASTA」は当事者のお母さんたちが頑張っているNGO。その共同代表の一人が、LGBTQについて知らせるのは、小学校では遅すぎると言っている。LGBTQのことを子どもたち自身が学ぶ、あるいは幼稚園や保育園の先生が学ぶのがすごく必要で、今回も親が子どもがトランスジェンダーなので、男女で分けることはしないでほしいと園に言っていたのに、男女別になって、いじめがひどくて、園の児童からお腹を殴られるのを見たりして訴えたにもかかわらず、ちゃんと対応してもらえず、さらに市にアウティングされたことから親が訴えた。子どもはいじめられて、死にたいと思うようになってしまった。実際にLGBTQの子どもの多くが自殺をすることが多い。制服がジェンダー役割を固定するだけでなく、心にあわない制服を強制されることにより学校に行けないだけでなく、行くのもつらくて自殺を考える子どもたちが多いわけで、そこまでのつらさを学校の先生、クラスメイトが理解できていない場合がある。幼稚園や保育園の早いうちから、心の性に沿って扱われるという権利、つまり戸籍と違って、本人が扱われたいと思う性で扱われる権利があるので、それを幼稚園保育園でも学

んでいくことが大事だと思う。すべての先生が早すぎると思わずにきちんと子どもに教えてほしい。(LGBTQの人は)20人に一人はいるといわれているので、20人以上いる教室では、必ず一人は性的マイノリティがいるので、その子を意識しながら、その子が傷つかないように、マジョリティとマイノリティと分けてしまうのではなく、SOGI(ソジ)について教えていくことも大事。**SOGI (Sexual Orientation and Gender Identity 性的指向／性自認)**はどんな性別を好きになるのか、自分自身をどういう性だと認識しているのかという状態を指すので、私たちすべてが当事者になるということ。今日のグループディスカッションで、タイでは18種類*のSOGIがあると教えられると大学生が発言していた。子ども自身が発信することも大事だと思う。「**一人一人が発信者**」ということ、高校生大学生の方々も考えて行動してもらえると嬉しいなと思う。

*甲斐田注：一般的には代表的な12種類に分類されるが、表現する性を加えると16種類になる。大事なのはSOGIは多様なグラデーションであり、一人ひとりのSOGIが違うということである。

質疑応答

Q. 高校教員です。もともと女子にはズボンの制服があったが、スラックスの制服もと変わってきているが、男の子のスカートというのは対応ができていない現状。これでよいのだろうか？

A. 男の子として生まれた子が、どうしてもスカートををはいて幼稚園に行きたいと泣き叫んでいた場面をドキュメンタリー番組で見たことがある。そういう時には、その子には切実なので、本当だったら、スカートも自由にはけるようになればよいと思うが、段階的に選択制になるといいと思う。制服を着たい人は着る、私服を着たい人は私服を着ると選べるのが一番。自分の高校はそうだった。当時はLGBTQを知らな

かったが、そうした子もいたと思うので、楽だったと思う。

中学校時代に苦しんだ子が高校生になり、自分がつらかった分、中学生の制服を自由にしてほしいと昨年江戸川区で署名活動をして区長に提出し、区長から「制服を自由のことを前向きに検討します」という答弁をもらった例がある。そういうふうにも子どもでもできるんだ、と思えるようになることと、そうした子どもに

対しての「わがまま論」があるが、決してわがままなのではなく当り前のことを要求しているんだと周りが変わっていくこと。「女・子どもは黙っている」、ではなくて、女性・子どもの意見も対等な人間としてちゃんと聴くと日本社会も変わっていくと思う。

さきほどのグループディスカッションで質問があった中に、「ほかの国ではもっと子どもが発言しているのか」と聞かれたが、本当に子どもが発言していて、それを大人が認めている。残念ながら、今の日本の政治では子どもは未熟だから発言をすべきでないという考え方だし、女性ならわきまえろという考えを、同じ人間として対等にみていくことが必要だと思う。

5. さいごに



ジェンダーのことで最後に言うとすれば、トランスジェンダーは男で生まれて心は女、女で生まれて心は男など様々なパターンがあるが、前者の方がいじめに遭いやすい。男のくせに女っぽいという方が、いじめられやすい。逆はボーイッシュな女の子もいるよねと考えることがある。男で生まれて心で女の子の方が、自殺を考えやすいという調査結果が出ている。両方に配慮は必要だが、いじめで見たときに、芸能界では「おかま」という言葉で差別されていたが、今は『多様性を認める義務』が私たちにはある、**ありのまま自分らしく生きる権利が子どもたちにはある**ということを子どもたちには伝えてもらいたいし、**ありのままの自分を出した時にいじめられない社会**をつくってほしい。そうした多様性を認めることが、子どもの権利を大事にすることにつながるので、ぜひ子どもの権利をテコにしながら、『多様性のある子どもにやさしい社会』を目指して行ってほしいと思います。

両方に配慮は必要だが、いじめで見たときに、芸能界では「おかま」という言葉で差別されていたが、今は『多様性を認める義務』が私たちにはある、**ありのまま自分らしく生きる権利が子どもたちにはある**ということを子どもたちには伝えてもらいたいし、**ありのままの自分を出した時にいじめられない社会**をつくってほしい。そうした多様性を認めることが、子どもの権利を大事にすることにつながるので、ぜひ子どもの権利をテコにしながら、『多様性のある子どもにやさしい社会』を目指して行ってほしいと思います。



ChildのCのポーズをしてくれた参加者の皆さん

米連邦最高裁判所のトップだった女性判事（ルース ベイダー ギンズバーグ RBG）の「今のままでいいと思う男性は、他の人が平等になることで自分の既得権益をなくすので脅威を感じる、それが抑圧だと感じる」という言葉がSNSで回っている。上下関係の上にいることを意識していないから、このままでいいと感じている。そこを自分が子どもや女性の位置に降りて同じ立場になろうと意識すると、子どもや女性の声を聴こうというふうになってくると思う。それでいいんだよといってくれるのが子どもの権利条約や女性差別撤廃条約だったので、**条約を遠い世界のことでではなく、身近なこととして、日々の生活の中で使っていくことが重要**だと思う。

国際教育教材体験フェアin 滋賀 2020 報告

開催日：2020年8月11日（火） 13:00～16:30

会場：コラボしが21代会議室CおよびWEB会議システムZoom 参加者：47人

主催：公益財団法人滋賀県国際協会 共催：JICA関西、Glocal net Shiga

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、対面とオンラインで同時に実施する研修を初めて試みました。

第1部

「みんなで考えよう！教材作りのコツー主体的・対話的で深い学びの視点からー」

講師 大槻 一彦さん 特別支援学校教員、青年海外協力隊OB（理数科教員）

1. シミュレーション

次の指示がわかった人はその通りにしてくださいと、スクリーンに以下の言葉が順に映し出された。① बसुस् ⇒ ② Setzen Sie sich ⇒ ③ 座ってください
(ネパール語) (ドイツ語)

言葉がわからないうちに対応できないという体験をした。

2. 「開発教育」「国際教育」とは ミニ講義

3. フォトランゲージ

右の写真を見て、知っていること、疑問に思ったことなどを挙げてみよう！

⇒ネパールで山登りには欠かせないシェルパ（登山の案内人）の写真。元々はシェルパ族という山岳地帯に暮らしていた民族名が由来。グローバル化の進展により、海外へ出稼ぎに行く人たちが増え、シェルパになる人が減っていること等が紹介された。



4. SDGsとは ミニ講義

5. ランキング

各自でSDGsの17のゴールから大事だと思う順でランキングを行った。小さなホワイトボードに優先順位の高いものから3つ書き出し、会場内とオンライン参加者へも情報を共有した。



6. 教材を考えよう

さいごに、グループで国際教育に使えるような題材などについて意見交換を行った。

第2部 「言葉を介さない対話は可能か？」

—非言語コミュニケーションを活用したアクティビティあれこれ—

講師 森 雄二郎さん 聖泉大学講師

1. 「対話的な学び」とは何か

対話（コミュニケーション）とは何かについてイメージの共有をおこなった。

⇒媒介するものは必ずしも「言語」だけではないこと、表情はじめ、非言語コミュニケーションの重要性などについて解説。

2. 非言語コミュニケーションを活用したアクティビティと授業展開について



活動展開（例）

グループで、お互いの印象やイメージを伝え合うアクティビティ。

質問例）私の好きそうな果物は何だと思いますか？

⇒自分自身と周りから見られている印象とのギャップを感じる体験。



その他の展開例として、手話やジェスチャー、ボディランゲージなどについても紹介したのち、言葉を使わずに伝えてみる体験を行った。

3. 絵表示（ピクトグラム）を作ってみよう

「職員室」を表すピクトグラムをホワイトボードに描いて、グループで共有した。

4. まとめ

非言語コミュニケーションワークを通じて、次のようなことに意識していくことが大事だとまとめられた。

1. 多様な対話（コミュニケーション）のあり方があること

- 意識的なものから、無意識的なものまで
- 常にお互いに情報を送りあっている
- どう見られているのか、どう見せたいのか
- 非言語の重要性＝言語の重要性

2. 相手の立場や状況に対する配慮や心遣いを学ぶこと

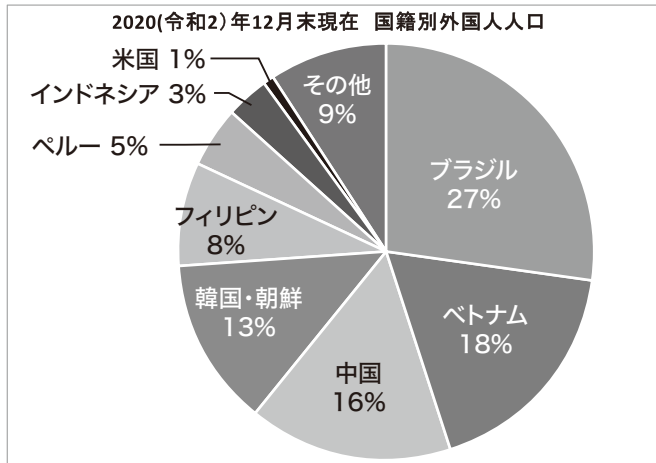
- 文字や言葉が分からない、情報が得られない人の存在（在日外国人・ろう者・高齢者・子ども…）
- どのような関わり方をすればいいのか（共生→人権）



資料集

- ◇ 滋賀県における国籍別外国人人口
- ◇ 国際教育研究会 Glocal net Shiga 活動報告
- ◇ 国際教育・開発教育貸出教材の紹介

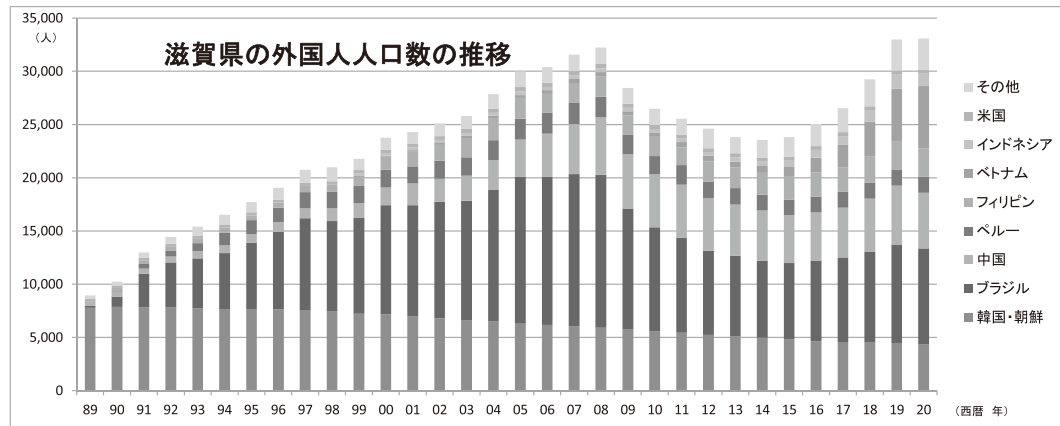
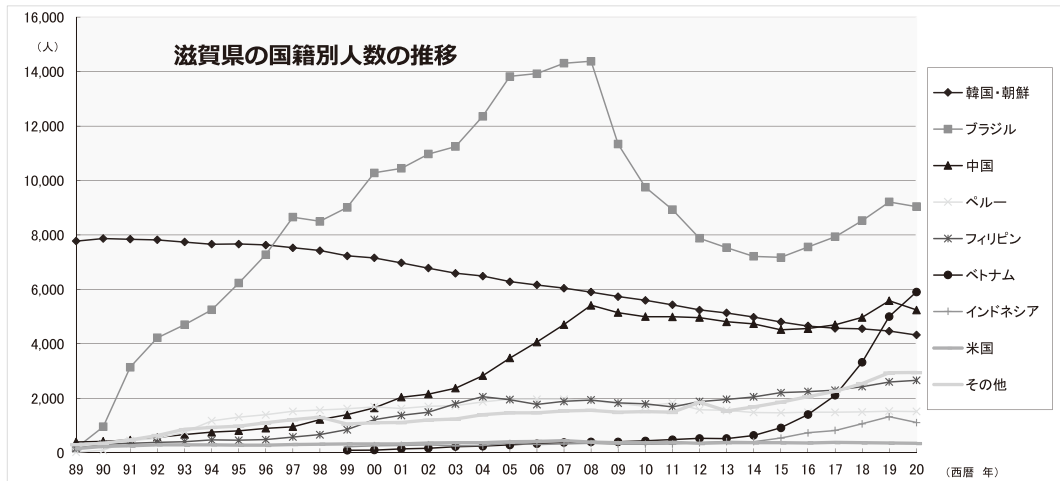
滋賀県における国籍別外国人人口



公益財団法人滋賀県国際協会 作成

国 籍	人口数	前年度比
ブラジル	9,039 人	△ 170
ベトナム	5,903 人	900
中国	5,241 人	△ 340
韓国・朝鮮	4,322 人	△ 145
フィリピン	2,658 人	59
ペルー	1,514 人	△ 11
インドネシア	1,107 人	△ 216
米国	345 人	△ 9
その他	2,947 人	13
合 計	33,076 人	81

*国籍数等:108ヶ国1地域(+8か国)



外国人人口の比率が2%以上の市町村 (2020年12月末現在)

	市町名	外 国 人 人 口 (人)	総人口 (人)	外国人 比率 (%)	備考(上位4国籍)
1	湖南市	3,317	55,061	6.02%	ブラジル 1,531人, ベトナム 566人, ペルー 356人, 韓国・朝鮮 277人
2	愛荘町	975	21,419	4.55%	ブラジル 560人, ベトナム 124人, フィリピン 120人, ペルー 55人
3	甲賀市	3,816	90,197	4.23%	ブラジル 1,515人, ベトナム 629人, 中国 397人, フィリピン 350人
4	東近江市	3,940	113,642	3.47%	ブラジル 1,535人, ベトナム 834人, フィリピン 378人, 中国 368人
5	長浜市	3,656	116,840	3.13%	ブラジル 1,721人, 中国 501人, ベトナム 468人, フィリピン 260人
6	日野町	682	21,304	3.20%	ブラジル 267人, ベトナム 210人, フィリピン 45人, 中国 40人
7	豊郷町	220	7,348	2.99%	ブラジル 100人, ベトナム 45人, 中国 28人, フィリピン 26人
8	彦根市	2,838	112,546	2.52%	ベトナム 726人, 中国 566人, ブラジル 506人, フィリピン 454人
9	草津市	2,971	135,850	2.19%	中国 1,025人, ベトナム 553人, 韓国・朝鮮 478人, フィリピン 184人
10	栗東市	1,448	70,362	2.06%	ベトナム 354人, ブラジル 272人, 中国 232人, 韓国・朝鮮 215人
	県全体	33,076	1,418,838	2.33%	ブラジル 9,039人, ベトナム 5,903人, 中国 5,241人, 韓国・朝鮮 4,322人

※滋賀県総合企画部国際課の調査に基づく。

※2011年(平成23年)12月末までは外国人登録者数、2012年(平成24年)12月末以降は住民基本台帳人口による。

※2013年(平成25年)12月末の統計より「中国・台湾」で統計をまとめていましたが、2019年(令和元年)12月末統計より「中国」「台湾」で統計をまとめています。

※県民43人(42.89人)に1人が外国人。

「国際教育研究会 **Glocal net Shiga** (くろーがる ネット し が)」について

私たち、「国際教育研究会 **Glocal net Shiga** (くろーがる ネット し が)」は平成15年(2003年)4月に立ち上がったグループです。名前にある **"Glocal"** とは **Global + Local** を結びつけた造語です。**"Think Globally, Act Locally"** (地球規模で考え、地域から行動する) という開発教育/地球市民教育/グローバル教育の地域社会に対する考え方を表すことばがあり、地球と地域を結ぶことばとして生まれました。

このような考え方をうけ、地元滋賀 (Shiga) で地域に根ざした人たちをつなぎ (Network)、みんなで一緒に地球市民を育む活動に取り組んでいきたいという思いが込められています。

会のねらいについて

- 地球上には、自国文化を含め、さまざまな生活・文化等があることを知り、多様性を受け入れること **多様性の尊重**
- 地域には、さまざまな文化背景や価値観等をもつ人びとがともに暮らしていることを認識し、多文化共生の意識を育むこと **多文化共生社会づくり**
- 世界と自分とはつながっていること、自分たちの生活と地球のどこかで起こっている問題が密接につながっていることを理解すること **相互依存関係の理解**
- 地球的課題を解決するために行動すること **公正・平和な社会づくり**
など

こうしたことをねらいとして、さまざまな実践方法 (おもに参加型学習法) を学びながら、国際教育を促進することを目的としています。教育関係者・国際協力NGO関係者・外国籍住民・地域国際協会関係者、学生、青年海外協力隊OVなど、さまざまな立場や経歴の持ち主が参加しています。

これまでに滋賀県の特徴を生かした題材をとらえ、「**ブラジルボックス**」・「**わたしん家の食事から**」・「**非識字体験ゲーム『ここは、何色?』**」「**はじめてのお見舞い**」・「**言葉がわからない**」体験ゲーム **何が起こった? (震災編)** などの教材を開発してきました。また、より多くの方に国際教育を体験していただくよう年数回、国際教育ワークショップを開催しております。

今後も幅広い知識や情報の交換を行い、より深みのある内容を取り上げていきたいと考えています。

入会について

毎月1回日曜日に例会を開催しています。さまざまな経歴のメンバーが集まるクラブ活動のような会です。渡航経験や語学については、まったく心配していただく必要はありませんので、この研究会にご関心のある方は、お気軽に下記までお問い合わせください。

国際教育・開発教育についての企画相談、講師派遣も随時承ります。

<お問合せ先>

公益財団法人滋賀県国際協会 担当 大森

〒520-0801 滋賀県大津市におの浜1-1-20 ピアザ淡海 2階

電話: 077-526-0931 ファックス: 077-510-0601

E-mail: omori@s-i-a.or.jp

2020年度の主な活動について

開催日	内 容
6/21 オンライン	国際教育教材体験フェア（兼）滋賀県総合教育センター自己啓発研修「国際理解」 スケジュール・分科会について話し合い
7/28 オンライン	国際教育教材体験フェア 分科会デモンストレーション
8/11 会場・ オンライン 並行開催	国際教育教材体験フェア（兼）滋賀県総合教育センター 自己啓発研修「国際理解」の運営・参加 第1部「みんなで考えよう！教材作りのコッソー主体的・対話的で深い学びの視点から」 第2部「言葉を介さない対話は可能か？—非言語コミュニケーションを活用したアクティビティあれこれ—」 第3部 JICA関西・滋賀県国際協会（SIA）からの情報提供
10/18 会場・ オンライン 並行開催	国際教育教材体験フェア ふりかえり 今年度「国際教育ワークショップ」 テーマ・講師・実施形態などについて話し合い 滋賀県国際協会 人材育成事業案について相談
11/29 会場・ オンライン 並行開催	今年度「国際教育ワークショップ」 テーマ・講師・実施形態などについて話し合い ワークショップ体験 「感染拡大を学ぶワークショップ」 滋賀県国際協会 プレ人材育成事業 次年度に向けて話し合い
12/26 会場・ オンライン 並行開催	プチ・ワークショップ体験 「新型コロナウイルス感染症とわたしたち」（DEAR発行） 「国際教育ワークショップ」 午前の部について話し合い 滋賀県国際協会 プレ人材育成事業 次年度に向けたフリートーク
1/24 会場・ オンライン 並行開催	「国際教育ワークショップ」 午前の部「感染症から考える — with コロナどう向き合うか—」 デモンストレーション 次年度「国際教育教材体験フェア」について話し合い
2/13 オンライン	国際教育ワークショップ in 滋賀 2020 「コロナ禍でさらに追いつめられる子どもたち〜」に参加
3/21 会場・ オンライン 並行開催	d-lab（開発教育全国研究集会）報告 アジア太平洋資料センター（PARC）新教材「プラスチックごみ〜日本のリサイクル幻想」視聴 次年度国際教育教材体験フェア分科会、プレ人材育成事業について話し合い



国際教育教材体験フェア



感染拡大を学ぶ（化学実験）ワークショップ体験

国際教育・開発教育教材の紹介および貸し出し規定について

(公財) 滋賀県国際協会

当協会では、国際理解教育および開発教育に関する資料・教材（ビデオ等も含む）を694点（2020年度末現在）所蔵しており、自由に閲覧・視聴することができますので、お気軽にご利用ください。

なお、当協会ホームページからも教材目録、貸出申請書様式が入手できます。

<http://www.s-i-a.or.jp/inquiries/lending>

<利用について>

- 閲覧・視聴 どなたでもご自由にご利用いただけます。
ただし、事務所にて保管しておりますので、閲覧を希望される場合は、職員にその旨お伝えください。
- 利用時間 月曜日から金曜日まで（土日祝日を除く） 午前9時から午後5時まで
- 貸 出 原則として、会員および団体（学校を含む）に限ります。
所定の貸出申込書にご記入の上、当協会窓口にご提出ください。
貸出期間：2週間以内（申請により期間延長可能）
貸出冊数：1回5点以内
- 返 却 当協会窓口まで直接ご返却ください。やむを得ないと認められる場合は、借受側の料金負担のもとに郵送・託送を認めます。
なお、破損、紛失の場合は実費をご負担いただきます。



貸出教材の一部

<お問合せ先> 公益財団法人 滋賀県国際協会

〒520-0801 大津市におの浜1-1-20 ピアザ淡海2階

電話 077-526-0931 ファックス 077-510-0601

HP <http://www.s-i-a.or.jp> E-mail info@s-i-a.or.jp

国際教育・開発教育教材目録

	分類番号	教 材 名	発行・出版社	種 類
1	0-0 概論 1	NGO スタッフのための国内事業ハンドブック	開発教育協会	ブックレット
2	0-0 概論 2	参加型 ワークショップ入門	明石書店	書籍
3	0-0 概論 3	テキスト国際理解	国土社	書籍
4	0-0 概論 4	国際理解教育 地球市民を育てる授業と構想	国土社	書籍
5	0-0 概論 5	国際理解 重要用語 300 の基礎知識	明治図書	書籍
6	0-0 概論 6	南北問題と開発教育 地球市民として生きるために	並紀書房	書籍
7	0-0 概論 7	開発教育 2006 Vol.53 特集 開発教育と教材 / スポーツと開発教育	明石書店	書籍
8	0-0 概論 8	地球市民教育のすすめかた	明石書店	書籍
9	0-0 概論 9	はてな? なぜかしら? 国際問題 全3巻	教育画劇	書籍
10	0-0 概論 10	開発教育 2003 No.47 特集 開発教育のこれまでとこれから	開発教育協会	ブックレット
11	0-0 概論 11	開発教育 2004 No.49 特集 平和を築く学び	開発教育協会	ブックレット
12	0-0 概論 12	開発教育 2004 No.50 特集 地域から描くこれからの開発教育	開発教育協会	ブックレット
13	0-0 概論 13	開発教育 2005 No.51 特集 いのちを育む学び	開発教育協会	ブックレット
14	0-0 概論 14	開発教育 2005 No.52 特集 国際協力と開発教育	開発教育協会	ブックレット
15	0-0 概論 15	開発教育実践の手引き 開発教育ガイドブック2	国際協力推進協会	ブックレット
16	0-0 概論 16	「開発教育」ってなあに? 開発教育 Q&A 集 改訂版	開発教育協会	書籍
17	0-0 概論 17	開発教育キーワード 51 開発教育ブックレットシリーズ No.5	開発教育協議会	ブックレット
18	0-0 概論 18	新しい開発教育のすすめ方	古今書院	書籍
19	0-0 概論 19	新しい開発教育のすすめ方II	古今書院	書籍
20	0-0 概論 20	World studie 学びかた・教えかたハンドブック	国際理解教育センター	書籍
21	0-0 概論 21	地球市民を育む学習 -Global teacher, Global learner	明石書店	書籍
22	0-0 概論 22	DEAR News 100号～	開発教育協会	ニュースレター
23	0-0 概論 23	開発教育 2007 vol. 54 特集参加型開発と参加型学習	開発教育協会	書籍
24	0-0 概論 24	いっしょに ESD ! 環境・人権・参加の世紀教育	国際理解教育センター	ブックレット
25	0-0 概論 25	「地球時代」の教育とは	岩波書店	書籍
26	0-0 概論 26	地域から描くこれからの開発教育	新評論	書籍
27	0-0 概論 27	開発教育 2008 vol. 55 特集 開発教育と市民性	開発教育協会	書籍
28	0-0 概論 28	開発教育 2009 vol. 56 特集 開発教育の教師・指導者とファシリテーター	開発教育協会	書籍
29	0-0 概論 29	開発教育 2010 vol. 57 特集 オルタナティブな経済と開発教育	開発教育協会	書籍
30	0-0 概論 30	開発教育 2011 vol. 58 特集 オルタナティブな教育と開発教育	開発教育協会	書籍
31	0-0 概論 31	パウロ・フレイレ「被抑圧者の教育学」を読む	太郎次郎社エディタス	書籍
32	0-0 概論 32	世界で生きる力ー自分を本当にグローバル化する 4 つのステップ	英治出版	書籍
33	0-0 概論 33	シティズンシップと教育ー変容する世界と市民性	頸草書房	書籍
34	0-0 概論 34	開発教育 2012 vol.59 特集 開発教育 この 10 年 そして未来へ向けて	開発教育協会	ブックレット
35	0-0 概論 35	開発教育 2013 vol. 60 特集 学びとしてのフェアトレード	開発教育協会	ブックレット
36	0-0 概論 36	開発教育 2014 vol. 61 特集 政治を語る市民社会	開発教育協会	ブックレット
37	0-0 概論 37	地域の問題解決を促進するファシリテーターハンドブック	開発教育協会	ブックレット
38	0-0 概論 38	この社会で戦う君に「知の世界地図」をあげよう	文芸春秋	書籍
39	0-0 概論 39	グローバル時代の国際理解教育ー実践と理論をつなぐ	明石書店	書籍
40	0-0 概論 40	100 歳のジャーナリストからききめ (人類)	汐文社	書籍
41	0-0 概論 41	100 歳のジャーナリストからききめ (育つ)	汐文社	書籍
42	0-0 概論 42	100 歳のジャーナリストからききめ (生きる)	汐文社	書籍
43	0-0 概論 43	100 歳のジャーナリストからききめ (平和)	汐文社	書籍
44	0-0 概論 44	100 歳のジャーナリストからききめ (学ぶ)	汐文社	書籍
45	0-0 概論 45	SDGs と開発教育 持続可能な開発目標のための学び	学文社	書籍
46	0-0 概論 46	開発教育 2015 vol. 62 特集 「平和」に向き合う開発教育	開発教育協会	ブックレット
47	0-0 概論 47	開発教育 2016 vol. 63 特集 女性をとりまく問題と開発教育	開発教育協会	ブックレット
48	0-0 概論 48	増補学び舎 中学歴史教科書 とともに学ぶ人間の歴史	学び舎	書籍
49	0-0 概論 49	開発教育 2017 vol. 64 特集 多文化共生社会の未来と開発教育	開発教育協会	ブックレット
50	0-0 概論 50	基本解説 そうだったのか。SDGs	(一社) SDGs 市民社会ネットワーク	書籍
51	0-0 概論 51	グローバル時代の「開発」を考えるー世界と関わり、共に生きるための 7 つのヒント	明石書店	書籍
52	0-0 概論 52	開発教育 2018 vol. 65 特集 公正な地球社会のための教育	開発教育協会	ブックレット
53	0-0 概論 53	国際理解教育 Vol. 22 特集道徳教育と国際理解教育	日本国際理解教育学会	書籍
54	0-0 概論 54	国際理解教育 Vol. 23 特集アクティビティ・ラーニングと国際理解教育	日本国際理解教育学会	書籍
55	0-0 概論 55	国際理解教育 Vol. 24 特集「移動する子どもたち」と国際理解教育	日本国際理解教育学会	書籍
56	0-0 概論 56	SDGs カリキュラムの創造 :ESD から広がる持続可能な未来	学文社	書籍
57	1-0 実践事例 1	わくわく開発教育 開発教育ブックレットシリーズ No.2	開発教育協議会	ブックレット
58	1-0 実践事例 2	いきいき開発教育 総合学習に向けてたカリキュラムと教材	開発教育協議会	ブックレット
59	1-0 実践事例 3	つながれ開発教育 学校と地域のパートナーシップ事例集	開発教育協議会	ブックレット
60	1-0 実践事例 4	チャレンジ総合的学習 1 中学校「国際理解」ファックス教材集	明治図書	書籍
61	1-0 実践事例 5	「いのち」を考える授業プラン 48	小学館	書籍
62	1-0 実践事例 6	人間関係を豊かにする授業実践プラン 50	小学館	書籍
63	1-0 実践事例 7	みんなと人間関係を豊かにする教材 55	小学館	書籍
64	1-0 実践事例 8	いっしょに学ぼう Learning Together	国際理解教育センター	ブックレット
65	1-0 実践事例 9	TOOL8 8 つの参加型<基本ツール>を使いこなす	国際理解教育センター	ブックレット
66	1-0 実践事例 10	STEP5 参加型ですめる 5 つのステップ	国際理解教育センター	ブックレット
67	1-0 実践事例 11	参加型で伝える 12 のものの見方・考え方	国際理解教育センター	ブックレット
68	1-0 実践事例 12	対立は悪くない ～学校・地域の問題解決に活かす～	国際理解教育センター	ブックレット
69	1-0 実践事例 13	Let's Cooperate 穏やかにめごとを解決するための学びかた・教えかたハンドブック	国際理解教育センター	ブックレット
70	1-0 実践事例 14	ハンドブック 楽しく学び合うワークショップ	国際理解教育情報センター	ブックレット
71	1-0 実践事例 15	みんなでつなごう! 教室と世界「総合的な学習の時間(国際理解)」に役立つ学習プラン	(財) 福島県国際交流協会	ブックレット
72	1-0 実践事例 16	国際理解教育ハンドブック 地域に暮らす外国人と一緒に学ぼう!	名古屋国際センター	ブックレット
73	1-0 実践事例 17	参加型学習で世界を感じる 開発教育実践ハンドブック	開発教育協会	ブックレット
74	1-0 実践事例 18	開発教育・国際理解教育ハンドブック 小中学校教育員用副読本	国際協力推進協会	ブックレット
75	1-0 実践事例 19	教室から地球へ 開発教育・国際理解教育 虎の巻	JICA 中部国際センター	ブックレット
76	1-0 実践事例 20	対立から学ぼう 中等教育におけるカリキュラムと教え方	国際理解教育センター	ブックレット
77	1-0 実践事例 21	ERIC レッスンバンク	国際理解教育センター	ペーパー
78	1-0 実践事例 22	レッスンバンク『ワールドスタディーズ』追加・発展教材集	国際理解教育センター	
79	1-0 実践事例 23	レッスンバンク『人権教育ファシリテーターハンドブック』追加・発展教材集	国際理解教育センター	
80	1-0 実践事例 24	活動(アクティビティ)で進める国際理解教育教材 全 12 セット 2005 年改訂版	地球の友と歩む会/LIFE	ワークキット
81	1-0 実践事例 25	グローバル・クラスルーム	明石書店	書籍
82	1-0 実践事例 26	身近なことから世界と私を考える授業	明石書店	書籍
83	1-0 実践事例 27	市民学習実践ハンドブック	開発教育協会	書籍
84	1-0 実践事例 28	国際交流・国際協力に基づく ESD 教材・カリキュラム	松山 ESD 促進実行委員会	書籍
85	1-0 実践事例 29	食からみえる「現代」の授業	太郎次郎エディタス	書籍
86	1-0 実践事例 30	はじまりをたどる「歴史」の授業	太郎次郎エディタス	書籍
87	1-0 実践事例 31	若者のための ESD 「私」から広がる世界	ESDR	書籍

国際教育・開発教育教材目録

	分類番号	教 材 名	発行・出版社	種 類
88	1-0 実践事例 32	身近なことから世界と私を考える授業Ⅱ オキナワ・多みんぞくニホン・核と温暖化	明石書店	書籍
89	1-0 実践事例 33	世界と私と未来をつなぐ授業づくりガイド 開発教育・ESD を教室へ	開発教育協会	書籍
90	1-0 実践事例 34	開発教育実践ハンドブック 参加型学習で世界を感じる[改訂版]	開発教育協会	書籍
91	1-0 実践事例 35	社会参画の授業づくり・持続可能な社会に向けて	古今書院	書籍
92	1-0 実践事例 36	ファシリテーショングラフィック入門	明治図書出版	書籍
93	1-0 実践事例 37	グループディスカッションで学ぶ社会学トレーニング	三省堂	書籍
94	1-0 実践事例 38	「共に生きる」をデザインする グローバル教育教材と活用ハンドブック	メディア総合研究所	書籍
95	1-0 実践事例 39	ESD・開発教育 実践者のための ふりかえり・自己評価ハンドブック	開発教育協会	ブックレット
96	1-0 実践事例 40	マンガアジアへアジアのマンガから世界を見よう～	名古屋国際センター・国際交流基金	ブックレット
97	1-0 実践事例 41	先生と NGO が手をつないだ！ 地域でつくる国際理解教育	福島県国際交流協会	ブックレット
98	1-0 実践事例 42	世界の国を知る 世界の国から学ぶ わたしたちの地球と未来 活用マニュアル	愛知県国際交流協会	ブックレット
99	1-0 実践事例 43	世界はともだち 2	岩手県国際交流協会	ブックレット
100	1-0 実践事例 44	たった一つを変えるだけ：クラスも教師も自立する「質問づくり」	新評論	書籍
101	1-0 実践事例 45	生徒の生き方が変わる グローバル教育の実践	メディア総合研究所	書籍
102	1-0 実践事例 46	「主体的学び」につなげる評価と学習方法—カナダで実践される ICE モデル(主体的学びシリーズ-主体的学び研究所)	東信堂	書籍
103	1-0 実践事例 47	教育ファシリテーターになろう！ グローバルな学びをめざす参加型授業	弘文堂	書籍
104	1-0 実践事例 48	社会科 アクティブ・ラーニングへの挑戦 社会参画をめざす参加型学習	明石書店	書籍
105	1-0 実践事例 49	学び合う場のつくり方——本当の学びへのファシリテーション	岩波書店	書籍
106	1-0 実践事例 50	リラックスと集中を一瞬でつくる アイスブレイク ベスト 50	ほんの森出版	書籍
107	1-0 実践事例 51	開発教育基本アクティビティ集 1—世界とのつながり	開発教育協会	書籍
108	1-0 実践事例 52	Social Action Handbook (ソーシャル・アクション ハンドブック) テーマと出会い・仲間をつくり・アクションの方法を見つける 39 のアイデア	開発教育協会	書籍
109	1-0 実践事例 53	豊かさと開発	開発教育協会	冊子
110	1-0 実践事例 54	アクティブラーニングに使える！ファシリテーターのための参加型アクティビティ集『コミュニケーション編』	NIED・国際理解教育センター	書籍
111	1-0 実践事例 55	多文化社会で多様性を考えるワークブック	研究社	書籍
112	1-0 実践事例 56	生きる力を育むグローバル教育の実践—生徒の心に響く主体的・対話的で深い学び	明石書店	書籍
113	1-0 実践事例 57	多文化共生のためのシティズンシップ教育実践ハンドブック	明石書店	書籍
114	1-1 実践事例 1	アクティビティ事典-2002 年度版-	国際理解教育センター	CD
115	1-1 実践事例 2	ゼロから始める主権者教育 18 歳の選挙権	PARC	DVD
116	2-0 南北問題 1	フード・ファースト・カリキュラム 食べものを通じて世界を見つめよう	国際理解教育センター	ブックレット
117	2-0 南北問題 2	テマワーク グローバルな視野を活動の中で育てる	国際理解教育センター	ブックレット
118	2-0 南北問題 3	食べものから世界が見える	地球市民アカデミア	ワークキット
119	2-0 南北問題 4	マジカルバナナ	地球の木	ワークキット
120	2-0 南北問題 5	改訂版 NEW マジカルバナナ	地球の木	ワークキット
121	2-0 南北問題 6	「援助」する前に考えよう 参加型開発と PLA がわかる本	開発教育協会	ブックレット
122	2-0 南北問題 7①②	いい貿易って何だろう いっぱいのコーヒーから考える世界の貿易 開発教育教材シリーズ②	開発教育協議会	ブックレット
123	2-0 南北問題 8	たずねてみよう！ カレーの世界 開発教育教材シリーズ③	開発教育協議会	ブックレット
124	2-0 南北問題 9	改訂版 たずねてみよう！ カレーの世界 開発教育教材シリーズ③	開発教育協会	ブックレット
125	2-0 南北問題 10①②	新・貿易ゲーム 開発教育教材シリーズ④	開発教育協会	ブックレット
126	2-0 南北問題 11	新・貿易ゲーム [改訂版]	開発教育協会	ブックレット
127	2-0 南北問題 12	貧困と開発 豊かさへのエンパワーメント	開発教育協会	ブックレット
128	2-0 南北問題 13	コーヒーカップの向こう側	開発教育協会	ブックレット
129	2-0 南北問題 14	小学校 ユニセフによる地球学習の手引き	教育出版	書籍
130	2-0 南北問題 15	中学校 ユニセフによる地球学習の手引き	教育出版	書籍
131	2-0 南北問題 16	地球に学ぶ新しい地理授業	古今書院	ブックレット
132	2-0 南北問題 17	スマホから考える 世界・わたし・SDGs	開発教育協会	書籍
133	2-0 南北問題 18	コンビニ弁当 16 万キロの旅	太郎次郎社	書籍
134	2-0 南北問題 19	世界から貧しさをなくす 30 の方法	合同出版	書籍
135	2-0 南北問題 20	世界と地球の困った現実	明石書店	書籍
136	2-0 南北問題 21	歩いてみてきたモノのこし方行く末	京都自由学校	ブックレット
137	2-0 南北問題 22	バナナとエゴと私たち 岩波ブックレット No.551	岩波書店	ブックレット
138	2-0 南北問題 23	フェア・トレード 公正なる貿易を求めて	新評論	書籍
139	2-0 南北問題 24	日本はどこへ行く？	太郎次郎社	書籍
140	2-0 南北問題 25	世界の貧困 1 日 1 ドルで暮らす人びと	青土社	書籍
141	2-0 南北問題 26	発展神話の仮面を剥ぐ グローバル化は世界を豊かにするのか？	古今書院	書籍
142	2-0 南北問題 27	徹底解剖 100 円ショップ 日常化するグローバリゼーション	コモンズ	書籍
143	2-0 南北問題 28	たまちゃんと南の人びと	明石書店	書籍
144	2-0 南北問題 29	たまちゃんと南の人びと part2	明石書店	書籍
145	2-0 南北問題 30	たまちゃんと南の人びと part3	明石書店	書籍
146	2-0 南北問題 31	世界がもし 100 人の村だったら (英訳付)	マガジンハウス	書籍
147	2-0 南北問題 32	世界がもし 100 人の村だったら②	マガジンハウス	書籍
148	2-0 南北問題 33	世界がもし 100 人の村だったら③たべもの編	マガジンハウス	書籍
149	2-0 南北問題 34	世界がもし 100 人の村だったら④子ども編	マガジンハウス	書籍
150	2-0 南北問題 35	新・ワークショップ版 世界がもし 100 人の村だったら	開発教育協会	ブックレット
151	2-0 南北問題 36	改訂版 100 人村カードセット	開発教育協会	ブックレット
152	2-0 南北問題 37①②	100 人村ワークショップセット		ワークキット
153	2-0 南北問題 38	レヌカの学び	あおもり開発教育研究会	ワークキット
154	2-0 南北問題 39	ケータイの一生 — ケータイを通して知る 私と世界のつながり	開発教育協会	ブックレット
155	2-0 南北問題 40	お弁当屋さんゲーム 一食のグローバリゼーションを考える	開発教育協会	ブックレット
156	2-0 南北問題 41	ケータイの裏側	コモンズ	書籍
157	2-0 南北問題 42	世界の半分が餓えるのはなぜ	合同出版	書籍
158	2-0 南北問題 43	世界がもし 1 0 0 人の村だったら 完結編	マガジンハウス	書籍
159	2-0 南北問題 44	NHK 地球データマップ 世界の「今」から「未来」を考える	NHK 出版	書籍
160	2-0 南北問題 45	原木のある森 コーヒーのはじまりの物語	アフリカ理解プロジェクト	書籍
161	2-0 南北問題 46	フードマイレージどこからくる？ 私たちの食べ物	開発教育協会	書籍
162	2-0 南北問題 47	世界中から人身売買がなくならないのはなぜ？	合同出版	書籍
163	2-0 南北問題 48	ワークショップ版 世界がもし 1 0 0 人の村だったら 第 3 版	開発教育協会	ブックレット
164	2-0 南北問題 49	カップめんから世界が見える	WE21 ジャパン 開発教育部会	ワークキット
165	2-0 南北問題 50	地球の水のものがたり～命の水が遠ざかる国～	WE21 ジャパン 開発教育部会	ワークキット
166	2-0 南北問題 51	戦闘機 1 機で学校 j 何校つくれるか？	合同出版	書籍
167	2-0 南北問題 52	世界から飢餓を終わらせるための 30 の方法	合同出版	書籍
168	2-0 南北問題 53	旅をしながら	いのちのことば社	絵本
169	2-0 南北問題 54	懐かしい未来～ラダックに学ぶこと	なつみら SHOP	書籍
170	2-0 南北問題 55	妹は 3 才 お医者さんがいてくれたなら	合同出版	書籍
171	2-0 南北問題 56	ダイヤモンドはほんとうに美しいのか？	合同出版	書籍
172	2-0 南北問題 57	ぼくは 8 歳、エイズで死んでいくぼくの話を書いて	合同出版	書籍
173	2-0 南北問題 58	紛争、貧困、環境破壊をなくすために 世界の子どもたちが語る 20 のヒント	合同出版	書籍
174	2-0 南北問題 59	マジカルバナナ V3	地球の木	ワークキット

国際教育・開発教育教材目録

	分類番号	教 材 名	発行・出版社	種 類
175	2-0 南北問題 60	ワークショップ版 世界がもし 100 人の村だったら 第 4 版	開発教育協会	ブックレット
176	2-0 南北問題 61	世界の国 1 位と最下位—国際情勢の基礎を知ろう	岩波ジュニア新書	書籍
177	2-0 南北問題 62	世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ	汐文社	絵本
178	2-0 南北問題 63	あなたの T シャツはどこから来たのか？誰も書かなかったグローバルゼーションの真実	東洋経済新報社	書籍
179	2-0 南北問題 64	ワークショップ版 世界がもし 100 人の村だったら 第 5 版	開発教育協会	ブックレット
180	2-0 南北問題 65	世界がもし 100 人の村だったら お金篇	マガジンハウス	書籍
181	2-0 南北問題 66	990 円のジーンズがつくられるのはなぜ？	合同出版	書籍
182	2-0 南北問題 67	ワークショップ版 世界がもし 100 人の村だったら 第 6 版	開発教育協会	ブックレット
183	2-1 南北問題 1	徹底解剖 100 円ショップ 日常化するグローバルゼーション	アジア太平洋資料センター	ビデオ
184	2-1 南北問題 2	あぶない野菜 グローバル化する食卓	アジア太平洋資料センター	ビデオ
185	2-1 南北問題 3	奪われたエビ	アジア太平洋資料センター	ビデオ
186	2-1 南北問題 4	エビの向こうにアジアが見える	アジア太平洋資料センター	ビデオ
187	2-1 南北問題 5	コーヒーの秘密 南北問題が見えてくる！	アジア太平洋資料センター	ビデオ
188	2-1 南北問題 6	種子をまめれ！ アグリビジネスとたたかうインド農民	アジア太平洋資料センター	ビデオ
189	2-1 南北問題 7	バナナ植民地・フィリピン	アジア太平洋資料センター	ビデオ
190	2-1 南北問題 8	ゴミを生かす人びと	アジア太平洋資料センター	ビデオ
191	2-1 南北問題 9	路上の子どもたち ブラジル・ストリートチルドレンの闘い	アジア太平洋資料センター	ビデオ
192	2-1 南北問題 10	地球データマップ	NHK	ビデオ
193	2-1 南北問題 11	つながっている世界 今日からできることってなんだろう？	和歌山県人権啓発センター	CD
194	2-1 南北問題 12	身近なモノを通して考える、世界の貧困・格差・環境 私たちの暮らしと世界のつながり	関西 NGO 協議会	DVD
195	2-1 南北問題 13	あいのり「緑の革命」	日本国際飢餓対策機構	DVD
196	2-1 南北問題 14	ゴンドールのやさしい光 パワーポイント版	日本国際飢餓対策機構	DVD
197	2-1 南北問題 15	バイオ燃料 畑でつくるエネルギー	アジア太平洋資料センター	DVD
198	2-1 南北問題 16	食べるためのマグロ売るためのマグロ	アジア太平洋資料センター	DVD
199	2-1 南北問題 17	パームオイル	アジア太平洋資料センター	DVD
200	2-1 南北問題 18	懐かしい未来～ラダックに学ぶこと&地域から始まる未来：グローバル経済を超えて	なつみら SHOP	DVD
201	2-1 南北問題 19	フードインク		DVD
202	2-1 南北問題 20	おじいさんと草原の小学校	アミューズソフトエンタテインメント	DVD
203	2-1 南北問題 21	もっと！フェアトレード 世界につながる私たちの暮らし	PARC	DVD
204	2-1 南北問題 22	スマホの真実 紛争鉱物と環境破壊とのつながり / ウェイク・アップ・コール	PARC	DVD
205	2-1 南北問題 23	薬は誰のものか エイズ治療薬と大企業の特許権	PARC	DVD
206	2-1 南北問題 24	コンビニの秘密 便利で快適な暮らしの裏で	PARC	DVD
207	2-1 南北問題 25	種子（たね）—みんなのもの？それとも企業の所有物？	PARC	DVD
208	2-1 南北問題 26	甘いバナナの苦い現実	PARC	DVD
209	2-1 南北問題 27	最後の一滴まで ヨーロッパの隠された水戦争	PARC	DVD
210	3-0 平和 1	世界を変えるお金の使い方	ダイヤモンド社	書籍
211	3-0 平和 2	戦争をやめさせ環境破壊をくいとめる新しい社会のつくり方	合同出版	書籍
212	3-0 平和 3	「図説」世界の紛争地域	PHP 研究所	書籍
213	3-0 平和 4	ほんのすこしの勇気から 難民のオレアちゃんがおしえてくれたこと	求龍堂	書籍
214	3-0 平和 5	母さん、ぼくは生きてます	マガジンハウス	書籍
215	3-0 平和 6	正直な気持ちを話そう イスラエル、パレスチナのリアル・ライフ	たちばな出版	書籍
216	3-0 平和 7	地雷の村で「寺子屋」づくり	PHP 研究所	書籍
217	3-0 平和 8①②	Talk for Peace! もっと話そう！	開発教育協議会	ブックレット
218	3-0 平和 9	アフガニスタンから来たモハメッド君のおはなし	つげ書房新社	書籍
219	3-0 平和 10	ぼくの見た戦争 2003 年イラク	ポプラ社	書籍
220	3-0 平和 11	Peace Archives 平和ミュージアム (DVD 付)	岩波書店	書籍・DVD
221	3-0 平和 12	なんもん 難民理解のためのワークブック 故郷をはなれて	難民事業本部	ブックレット
222	3-0 平和 13	増補改訂版 Talk for Peace もっと話そう！ 平和を築くためにできること	開発教育協会	ブックレット
223	3-0 平和 14	アジアのこころ (英訳付)	自由国民社	絵本
224	3-0 平和 15	サニーのおねがい 地雷ではなく花をください (英訳付)	自由国民社	絵本
225	3-0 平和 16	サニー カンボジアへ 続・地雷ではなく花をください (英訳付)	自由国民社	絵本
226	3-0 平和 17	サニー ボスニア・ヘルツェゴビナへ 続々・地雷ではなく花をください (英訳付)	自由国民社	絵本
227	3-0 平和 18	サニー アフガニスタンへ 心をこめて地雷ではなく花をください (英訳付)	自由国民社	絵本
228	3-0 平和 19	難民と地雷 全 3 巻	草土文化	書籍
229	3-0 平和 20	平和のアクティビティブック	YMCA	ブックレット
230	3-0 平和 21	ボーボキ、平和って、なに色？	エピック	絵本
231	3-0 平和 22	イマジン 9 想像してごらん、戦争のない世界を	合同出版	絵本
232	3-0 平和 23	ほんのすこしの勇気から 難民のオレアちゃんがおしえてくれたこと	求龍堂	書籍
233	3-0 平和 24	クラスター爆弾なんてもういらない。世界から兵器をなくすみんなの願い	合同出版	書籍
234	3-0 平和 25	岩波 DVD ブック Peace Archives 東京・ゲルニカ・重慶 空襲から平和を考える	岩波書店	書籍・DVD
235	3-0 平和 26	創造的（クリエイティブ）に対立解決—教え方ガイド—	開発教育協会・立教大学	書籍
236	3-0 平和 27	子どもとできる創造的な対立解決—実践ガイド—	開発教育協会	書籍
237	3-0 平和 28	井上ひさしの子どもにつたえる日本国憲法	講談社	書籍
238	3-0 平和 29	「それでも、日本人は「戦争」を選んだ」	朝日出版社	書籍
239	3-0 平和 30	ピースフルな子どもたち 戦争・暴力・いじめを越えて	せせらぎ出版	書籍
240	3-0 平和 31	大量破壊兵器、カラシニコフを世界からなくす方法	合同出版	書籍
241	3-0 平和 32	ぼくらのアフリカに戦争がなくなるらないのはなぜ？	合同出版	書籍
242	3-0 平和 33	さよなら紛争（14 歳の世渡り術）	河出書房新社	書籍
243	3-0 平和 34	ダイヤモンドはほんとうに美しいのか？	合同出版	書籍
244	3-0 平和 35	ビデオ・メッセージでもすぶアジアと日本—わたしがやってきた戦争のつたえ方（教科書に書かれなかった戦争）	梨の木舎	書籍
245	3-0 平和 36	へいわってどんなこと？ 日・中・韓平和絵本	童心社	絵本
246	3-0 平和 37	開発教育 基本アクティビティ集 2 難民	開発教育協会	ブックレット
247	3-1 平和 1	戦争の傷後 Legacies of War	国連広報センター	ビデオ
248	3-1 平和 2	難民女性	UNHCR	ビデオ
249	3-1 平和 3	難民になるって、どういうこと？	UNHCR	ビデオ
250	3-1 平和 4	難民もみんな同じ地球人	UNHCR	ビデオ
251	3-1 平和 5	世界の難民はどこに 2004 年 GLOBAL VIEW	UNHCR	ビデオ
252	3-1 平和 6	ほんのちょっと変えてみよう	UNHCR	ビデオ
253	4-0 環境 1	もうひとつの日本地図	野草社	書籍
254	4-0 環境 2	1 秒の世界	ダイヤモンド社	書籍
255	4-0 環境 3	地球がもし 100cm の球だったら	世界文化社	書籍
256	4-0 環境 4	地球では 1 秒間にサッカー場 1 面分の緑が消えている	マガジンハウス	書籍
257	4-0 環境 5	あなたが世界を変える日	学陽書房	書籍
258	4-0 環境 6	地球買いモノ白書	コムズ	書籍
259	4-0 環境 7	21 世紀の子どもたちが地球を救う	ブロンズ新社	書籍
260	4-0 環境 8	ファシリテーター入門	つげ書房新社	書籍
261	4-0 環境 9	私にできることは、なんだろう	ascom	書籍

国際教育・開発教育教材目録

	分類番号	教 材 名	発行・出版社	種 類
262	4-0 環境 10	にむの木のある村（ベンガル語訳付）	大阪国際交流センター	絵本
263	4-0 環境 11	森におかえり（英訳付）	自由国民社	絵本
264	4-0 環境 12	森が海をつくる（英訳付）	自由国民社	絵本
265	4-0 環境 13	空気はだれのもの？（英訳付）	自由国民社	絵本
266	4-0 環境 14	ジェイクの海のなかつた（英訳付）	自由国民社	絵本
267	4-0 環境 15	ホテルのくる町（英訳付）	自由国民社	絵本
268	4-0 環境 16	エレナとダフニ（英訳付）	自由国民社	絵本
269	4-0 環境 17	森の暮らしの記憶（英訳付）	自由国民社	絵本
270	4-0 環境 18	「私たちのピン川」北タイ環境教育カリキュラム	開発教育協会	ブックレット
271	4-0 環境 19	食べものから考える環境教育ガイドブック FOOD	エコ・コミュニケーションセンター	ブックレット
272	4-0 環境 20	コミュニティー・エンパワーメント	エコ・コミュニケーションセンター	ブックレット
273	4-0 環境 21	環境教育推進ハンドブック	国際理解教育センター	ブックレット
274	4-0 環境 22	地球のみかた 地球について学ぶカリキュラム（生使用）	国際理解教育センター	ブックレット
275	4-0 環境 23	地球のみかた 地球について学ぶカリキュラム	国際理解教育センター	ブックレット
276	4-0 環境 24	未来を学ぼう わたしと地球を結ぶ価値観とビジョン	国際理解教育センター	ブックレット
277	4-0 環境 25①②	バーム油のはなし「地球にやさしい」ってなんだろう？	開発教育協会	ワークキット
278	4-0 環境 26	みみずのカーロ シェフアー先生の自然の学校	合同出版	書籍
279	4-0 環境 27	図解 地球の真実（別冊宝島 1397）	宝島社	書籍
280	4-0 環境 28	もっと話そう！エネルギーと原発のこと 参加型で学び合うための16の方法	開発教育協会	書籍
281	4-0 環境 29	バーム油の話「地球にやさしい」ってなんだろう？改訂版	開発教育協会	ワークキット
282	4-0 環境 30	水から広がる学び アクティビティ 20	開発教育協会	ワークキット
283	4-0 環境 31	SDGs と環境教育	学文社	書籍
284	4-0 環境 32	気候変動 開発教育アクティビティ集 3	開発教育協会	ブックレット
285	4-0 環境 33	プラスチックこみ 開発教育アクティビティ集 4	開発教育協会	ブックレット
286	4-1 環境 1	森はどこへ行く オーストラリアの原生林が日本の紙になるまで	アジア太平洋資料センター	ビデオ
287	4-1 環境 2	緑の砂漠 植林が環境を破壊する	アジア太平洋資料センター	ビデオ
288	4-1 環境 3	切り売りされるタイ プーケット島の観光開発	アジア太平洋資料センター	ビデオ
289	4-1 環境 4	いつかこの木に見守られて タイ植林体験記	オイスカ	ビデオ
290	4-1 環境 5	緑の革命「あいのり」		ビデオ
291	4-1 環境 6	ペットボトルの水	アジア太平洋資料センター	DVD
292	4-1 環境 7	世界をめぐる電子ゴミ	アジア太平洋資料センター（PARC）	DVD
293	4-1 環境 8	ハードレイン・バンドラの箱から降り注ぐ放射能	アジア太平洋資料センター（PARC）	DVD
294	4-1 環境 9	プラスチックこみ 日本のリサイクル幻想	アジア太平洋資料センター（PARC）	DVD
295	5-0 人権 1	識字 BOX	国際識字年推進和泉連絡会	ワークキット・カルタ・ビデオ
296	5-0 人権 2	人権教育ファシリテーター・ハンドブック 参加型「気づきから築きへ」プログラム	国際理解教育センター	ブックレット
297	5-0 人権 3	いっしょに考えて！ 人権 人権教育ファシリテーターハンドブック 発展編	国際理解教育センター	ブックレット
298	5-0 人権 4	いっしょにすめよう！ 人権 人権教育ファシリテーターハンドブック 実践編	国際理解教育センター	ブックレット
299	5-0 人権 5	人権教育のためのコンパス［羅針盤］	明石書店	書籍
300	5-0 人権 6	同和問題・人権問題学習教材（パート4） こうもりくん	滋賀県解放県民センター	ブックレット
301	5-0 人権 7	国際理解教育と人権	開放出版社	書籍
302	5-0 人権 8	ブエノス・ディアス・ニッポン ～外国人が生きる「もうひとつの日本」～	ラティエナ	書籍
303	5-0 人権 9	知っていますか？ 死刑と人権 一問1答	解放出版社	書籍
304	5-0 人権 10	非核と先住民族の独立をめざして	現代人文社	ブックレット
305	5-0 人権 11	デカセギ 逆流する日系ブラジル人	草思社	書籍
306	5-0 人権 12	米軍に土地を奪われた沖縄人	新読書社	書籍
307	5-0 人権 13	ええぞ、カルロス	大阪市立総合生涯学習センター	絵本
308	5-0 人権 14	チョコレートから世界が見える人権を基盤にしたESD教材	ヒューライツ大阪	書籍
309	5-0 人権 15	「人権で世界を変える30の方法」（ヒューマンライツ・ナウ編）	合同出版	書籍
310	5-0 人権 16	あなたとわたしの幸せを築く世界人権宣言 世界人権宣言	世界人権宣言大阪連絡会議	ブックレット
311	5-0 人権 17	ヘイトスピーチとたたかう！	岩波書店	書籍
312	5-0 人権 18	人権教育指導資料集 人権教育を進めるために	長野県教育委員会	書籍
313	5-0 人権 19	地球市民の人権教育－15歳からのレッスンプラン	解放出版社	書籍
314	5-0 人権 20	多様性の学級づくり 人権教育アクティビティ集	解放出版社	書籍
315	5-0 人権 21	外国人はなぜ消防士になれないかー公的な国籍差別の撤廃に向けてー	田畑書店	書籍
316	5-0 人権 22	ちがいでキドキ多文化共生ナビ～在日外国人教育実践プラン集～	大阪府在日外国人教育研究協議会	書籍
317	5-0 人権 23	ダイバーシティ・トレーニング・ブック 多様性研修のてびき	解放出版社	書籍
318	5-0 人権 24	むこう岸には	ぼるぶ出版	絵本
319	5-0 人権 25	島 よくある物語	飛鳥新社	絵本
320	5-1 人権 1	国際人権を知っていますか ～国連と市民のとりくみ～	ヒューライツ大阪	ビデオ
321	5-1 人権 2	自立をめざして ～アジアの女性とこどもたち～	ヒューライツ大阪	ビデオ
322	5-1 人権 3	日本の国際化と人権 ～違いを認めあう地域社会を～	ヒューライツ大阪	ビデオ
323	5-1 人権 4	女たちが語るインド	アジア太平洋資料センター	ビデオ
324	5-1 人権 5	もうひとつの戦争 インドの人口政策と女性たち	アジア太平洋資料センター	ビデオ
325	5-1 人権 6	映画ジャビルカ日本語版 私たちの電気がアボリジニの大地を壊す	アジア太平洋資料センター	ビデオ
326	5-1 人権 7	ミナ笑顔 37言語収録版 DVD	ACCU	DVD
327	5-1 人権 8	DVD もうひとつのツーリズム「先住民族エコツアーの始動」NGO/NPO キャンペーンハンドブック	NPO法人さっぽろ自由学校「遊」	DVD
328	6-0 英語教育 1	JAPAN ALMANAC 2005 英和対訳データ年鑑	朝日新聞社	書籍
329	6-0 英語教育 2	公立小学校でやってみよう！ 英語	草木文化	書籍
330	6-0 英語教育 3	総合英語：地球市民として生きる	三修社	ブックレット
331	6-0 英語教育 4	英語で国際理解教育（CD付）小学1・2年版	小学館	書籍・CD
332	6-0 英語教育 5	英語で国際理解教育（CD付）小学3・4年版	小学館	書籍・CD
333	6-0 英語教育 6	英語で国際理解教育（CD付）小学5・6年版	小学館	書籍・CD
334	6-0 英語教育 7	小学校英語の授業プラン つくって調べる地球環境（CD付）	小学館	書籍・CD
335	6-0 英語教育 8	小学生的英会話活動 ～ゲームと歌あそび～	小学館	書籍
336	6-0 英語教育 9	英語で広がるわたしたちの世界 もっと知りたい！人間について	金の星社	絵本
337	6-0 英語教育 10	英語で広がるわたしたちの世界 もっと知りたい！平和について	金の星社	絵本
338	6-0 英語教育 11	英語で広がるわたしたちの世界 もっと知りたい！環境について	金の星社	絵本
339	6-0 英語教育 12	英語で広がるわたしたちの世界 もっと知りたい！いろいろな文化	金の星社	絵本
340	6-0 英語教育 13	英語で広がるわたしたちの世界 もっと知りたい！世界の国々	金の星社	絵本
341	6-0 英語教育 14	えほんで楽しむ英語の世界	一声社	書籍
342	6-0 英語教育 15	アメリカの小学校ではこうやって英語を教えている	径書房	書籍
343	6-0 英語教育 16	CAN YOU FIND ME?	ACCU	絵本
344	6-0 英語教育 17	はじめての英語の歌ー歌でおぼえるらくらくイングリッシュー	学研マーケティング	書籍
345	6-0 英語教育 18	ヘンリーおじさんの英語でレッスンができる本ーネイティブが教える、子ども英語教室フレーズ集	アルク	書籍
346	6-0 英語教育 19	小学校 テーマで学ぶ英語活動 BOOK1	三友社出版	書籍
347	6-0 英語教育 20	和の行事えほん Annual Events in Japan Spring & Summer	Ehon House	書籍
348	6-0 英語教育 21	和の行事えほん Annual Events in Japan Autumn & Winter	Ehon House	書籍

国際教育・開発教育教材目録

	分類番号	教 材 名	発行・出版社	種 類
349	6-0 英語教育 22①	your world 英語テキスト	サクソコートパブリッシング	書籍
350	6-0 英語教育 22②	your world 英語テキスト 別売指導用 CD	サクソコートパブリッシング	CD-ROM
351	6-0 英語教育 23①	your world 国際理解テキスト	サクソコートパブリッシング	書籍
352	6-0 英語教育 23②	your world 国際理解テキスト 別売指導用 CD	サクソコートパブリッシング	CD-ROM
353	6-0 英語教育 24	チャレンジ! キッズ スピーチ 1 できるよ! はじめてのスピーチ	大月書店	書籍
354	6-0 英語教育 25	チャレンジ! キッズ スピーチ 2 平和をもとめた子どもたち	大月書店	書籍
355	6-0 英語教育 26	チャレンジ! キッズ スピーチ 3 子どもの権利をうったえる	大月書店	書籍
356	7-0 多文化 1	My name is... 世界にひとつだけの名前	角川書店	書籍
357	7-0 多文化 2	日本のなかの世界	新幹社	書籍
358	7-0 多文化 3	多文化共生のジレンマ	明石書店	書籍
359	7-0 多文化 4	多文化共生の学校づくり	明石書店	書籍
360	7-0 多文化 5	多文化共生のまちづくり	明石書店	書籍
361	7-0 多文化 6	多文化教育 多様性のための教育学	明石書店	書籍
362	7-0 多文化 7	幼児のための多文化理解教育	明石書店	書籍
363	7-0 多文化 8	多文化教育を拓く	明石書店	書籍
364	7-0 多文化 9	多文化・人権教育学校をつくる	明石書店	書籍
365	7-0 多文化 10	雨森芳洲と朝鮮通信使かるた	雨森芳洲庵	かるた
366	7-0 多文化 11	歴史教科書 在日コリアンの歴史	明石書店	書籍
367	7-0 多文化 12	滋賀のなかの朝鮮	明石書店	書籍
368	7-0 多文化 13	外国人のためのお弁当 (3ヶ国語: 日・中・英語)	関西生命線	書籍
369	7-0 多文化 14	多文化共生保育 Q&A	大阪保育子育て人権情報研究センター	ブックレット
370	7-0 多文化 15	アフリカ 理解ハンドブック アフリカと私たち	アフリカ日本協議会	ブックレット
371	7-0 多文化 16	くらべてみよう! 日本と世界の 食べ物と文化	講談社	書籍
372	7-0 多文化 17	ババラギ	立風書房	絵本
373	7-0 多文化 18	世界のあいさつ	福音館書店	絵本
374	7-0 多文化 19	見る・つくる・知る おしゃれなアフリカ1 アフリカンドレス	明石書店	書籍
375	7-0 多文化 20	見る・つくる・知る おしゃれなアフリカ2 アフリカンキッチン	明石書店	書籍
376	7-0 多文化 21	見る・つくる・知る おしゃれなアフリカ3 アフリカンリビング	明石書店	書籍
377	7-0 多文化 22	たくさんのふしぎ傑作集 手で食べる?	福音館書店	絵本
378	7-0 多文化 23	たくさんのふしぎ傑作集 いっぱんの鉛筆のむこうに	福音館書店	絵本
379	7-0 多文化 24	世界のじゃんけん	今人舎	書籍
380	7-0 多文化 25	世界の外あそび	今人舎	書籍
381	7-0 多文化 26	韓国・朝鮮と出会う	国土社	書籍
382	7-0 多文化 27	中国と出会う	国土社	書籍
383	7-0 多文化 28	フィリピンと出会う	国土社	書籍
384	7-0 多文化 29	ブラジルと出会う	国土社	書籍
385	7-0 多文化 30	多文化子どもの歌集 (CD 付)	明石書店	ブックレット・CD
386	7-0 多文化 31	朝鮮をどう教えるか	解放出版社	書籍
387	7-0 多文化 32	オーストラリア発見 (対訳本・ビデオ 2 本付)	豪日交流基金	ブックレット・ビデオ
388	7-0 多文化 33	いろんな国・いろんなことば 全 6 巻 (ビデオ付)	ポプラ社	絵本・ビデオ
389	7-0 多文化 34	ひょうたん島問題 ～多文化共生をめざして～ (CD 付)	デジタルマジック	ワークキット
390	7-0 多文化 35	シミュレーション教材「ひょうたん島問題」	明石書店	書籍
391	7-0 多文化 36①②	ブラジルボックス	滋賀県国際協会	ワークキット
392	7-0 多文化 37①②	かるた “わたしん家の食事から”	滋賀県国際協会	ワークキット
393	7-0 多文化 38	多文化共生キーワード事典	明石書店	書籍
394	7-0 多文化 39	ニューカマーの子どもと学校文化	勤草書房	書籍
395	7-0 多文化 40	外国人の子どもと日本の教育	東京大学出版会	書籍
396	7-0 多文化 41	ブエノス・ディアス、ニッポンー外国人が生きる「もうひとつのニッポン」	ラティエナ	書籍
397	7-0 多文化 42	多文化保育論	学文社	書籍
398	7-0 多文化 43	乳幼児とその家族への早期支援	北大路書房	書籍
399	7-0 多文化 44	新版 シミュレーション教材「ひょうたん島問題」	明石書店	書籍
400	7-0 多文化 45	多文化共生社会と外国人コミュニティの力	現代人文社	書籍
401	7-0 多文化 46	顔の見えない定住化	名古屋大学出版会	書籍
402	7-0 多文化 47	「多文化パワー」社会ー多文化共生を超えて	明石書店	書籍
403	7-0 多文化 48	まんが クラスメイトは外国人 多文化共生 20 の物語	明石書店	書籍
404	7-0 多文化 49	世界あちこちゆかいな家めぐり	福音館書店	書籍
405	7-0 多文化 50	トイレのおかげ	福音館書店	書籍
406	7-0 多文化 51	絵本で育てる情報分析力	一声社	書籍
407	7-0 多文化 52	多文化共生社会の保育者ーぶつかってもだいじょうぶ	北大路書房	書籍
408	7-0 多文化 53	異文化コミュニケーションー新・国際人への条件	有斐閣選書	書籍
409	7-0 多文化 54	絵本 世界の食事①<フランスのごはん>	農文協	書籍
410	7-0 多文化 55	絵本 世界の食事②<インドのごはん>	農文協	書籍
411	7-0 多文化 56	絵本 世界の食事③<韓国のごはん>	農文協	書籍
412	7-0 多文化 57	絵本 世界の食事④<イタリアのごはん>	農文協	書籍
413	7-0 多文化 58	絵本 世界の食事⑤<メキシコのごはん>	農文協	書籍
414	7-0 多文化 59	絵本 世界の食事⑥<ドイツのごはん>	農文協	書籍
415	7-0 多文化 60	絵本 世界の食事⑦<ブラジルのごはん>	農文協	書籍
416	7-0 多文化 61	絵本 世界の食事⑧<中国のごはん>	農文協	書籍
417	7-0 多文化 62	絵本 世界の食事⑨<タイのごはん>	農文協	書籍
418	7-0 多文化 63	絵本 世界の食事⑩<トルコのごはん>	農文協	書籍
419	7-0 多文化 64	絵本 世界の食事⑪<モンゴルのごはん>	農文協	書籍
420	7-0 多文化 65	絵本 世界の食事⑫<フィンランドのごはん>	農文協	書籍
421	7-0 多文化 66	絵本 世界の食事⑬<ベトナムのごはん>	農文協	書籍
422	7-0 多文化 67	絵本 世界の食事⑭<スペインのごはん>	農文協	書籍
423	7-0 多文化 68	絵本 世界の食事⑮<ペルーのごはん>	農文協	書籍
424	7-0 多文化 69	The World of Street Food Easy quick meals to cook at home	ニュー・インターナショナル・ジャパン	書籍
425	7-0 多文化 70	原木のある森 コーヒーのはじまりの物語	アフリカ理解プロジェクト	書籍
426	7-0 多文化 71	非識字体験ゲーム 「ここは、何色?」「はじめてのお見舞い」	滋賀県国際協会	ワークキット
427	7-0 多文化 72	「言葉がわからない」体験ゲーム 何が起った? (震災編)	滋賀県国際協会	ワークキット
428	7-0 多文化 73	日本と世界のおもしろことわざーことわざで文化を比較しようー 第 1 巻 生きる知恵	学研教育出版	書籍
429	7-0 多文化 74	日本と世界のおもしろことわざーことわざで文化を比較しようー 第 2 巻 人情	学研教育出版	書籍
430	7-0 多文化 75	日本と世界のおもしろことわざーことわざで文化を比較しようー 第 3 巻 損得と運	学研教育出版	書籍
431	7-0 多文化 76	日本と世界のおもしろことわざーことわざで文化を比較しようー 第 4 巻 才能と経験	学研教育出版	書籍
432	7-0 多文化 77	日本と世界のおもしろことわざーことわざで文化を比較しようー 第 5 巻 世の中	学研教育出版	書籍
433	7-0 多文化 78	日本と世界のおもしろことわざーことわざで文化を比較しようー 第 6 巻 ことわざのいろいろ	学研教育出版	書籍
434	7-0 多文化 79	私も「移動する子ども」だった 異なる言語の間で育った子どもたちのライフストーリー	くろしお出版	書籍
435	7-0 多文化 80	在日コリアン女性 20 人の軌跡	明石書店	書籍

国際教育・開発教育教材目録

	分類番号	教 材 名	発行・出版社	種 類
436	7-0 多文化 81	ぐずぐず言わせて！ わたしらの居場所 「わたしのこ」 シリーズ vol.2	(財) 神奈川国際交流協会	書籍
437	7-0 多文化 82	先住民族と ESD	立教大学 ESD 研究センター	書籍
438	7-0 多文化 83	続・先住民族と ESD	立教大学 ESD 研究センター	書籍
439	7-0 多文化 84	教材「CHAMPURREANDO ～世界のウチナナンチュ 発！ 多文化共生」	NPO 法人沖縄 NGO センター	教材セット
440	7-0 多文化 85	世界のウチナナンチュかるたチャンプレアンド 日本語＋英語版	NPO 法人沖縄 NGO センター	カルタ
441	7-0 多文化 86	3・11 後の多文化家族	明石書店	書籍
442	7-0 多文化 87	外国にルーツを持つ子どもたち 思い・制度・展望	(財) アジア・太平洋人権情報センター	書籍
443	7-0 多文化 88	いつだって、そばにいるよ。	NTT 出版	書籍
444	7-0 多文化 89	未来をつくる教育 ESDー持続可能な多文化社会をめざして	明石書店	書籍
445	7-0 多文化 90	異文化間教育ー文化間移動と子どもの教育	明石書店	書籍
446	7-0 多文化 91	言葉図鑑 なまえのことばとくらしのことば1 にほんご・えいご・ポルトガル語・スペイン語	偕成社	絵本
447	7-0 多文化 92	言葉図鑑 なまえのことばとくらしのことば2 にほんご・えいご・ポルトガル語・スペイン語	偕成社	絵本
448	7-0 多文化 93	フィリピンかあちゃん奮闘記 in ジャパン	文化社	書籍
449	7-0 多文化 94	異文化理解入門	平凡社	書籍
450	7-0 多文化 95	外国人から見たニッポン	ディスカヴァー・トゥエンティワン	書籍
451	7-0 多文化 96	Playtime	Oxfam	英語絵本
452	7-0 多文化 97	Bicycles	Oxfam	英語絵本
453	7-0 多文化 98	Home	Oxfam	英語絵本
454	7-0 多文化 99	Our Animals	Oxfam	英語絵本
455	7-0 多文化 100	At School	Oxfam	英語絵本
456	7-0 多文化 101	ぼく、いいもの いっぱい～日本語で学ぶ子どもたち～	子どもの未来社	絵本
457	7-0 多文化 102	わたしが外人だったころ	福音館書店	絵本
458	7-0 多文化 103	ビビのアフリカ旅行	ポプラ社	書籍
459	7-0 多文化 104	まんがで学ぶ 世界の宗教	あさ出版	書籍
460	7-0 多文化 105	絵本で学ぶイスラームの暮らし	あすなる書房	絵本
461	7-0 多文化 106	アラブから こんにちは 灼熱、イスラーム、魔人、子育てー未知なるアラブの生活事情	国書刊行会	書籍
462	7-0 多文化 107	アイ アム ジャバニーズ これがハーフ芸人の生きる道	ワニブックス	書籍
463	7-0 多文化 108	ハーフが美人なんて妄想ですから！！ 困った「純ジャパ」との闘いの日々	中央公論新社	書籍
464	7-0 多文化 109①②	わたしん家の食事から カードゲーム版	(公財) 滋賀県国際協会	ワークキット
465	7-0 多文化 110	境界に生きる 暮らしの中の多文化共生	解放出版社	書籍
466	7-0 多文化 111	同級生は外国人!?①「どうしてルールが守れないの？」	汐文社	書籍
467	7-0 多文化 112	同級生は外国人!?②「どうして頭にスカーフを巻いているの？」	汐文社	書籍
468	7-0 多文化 113	同級生は外国人!?③「日本がきらいなのかな？」	汐文社	書籍
469	7-0 多文化 114	いのりー聖なる場所	光村教育図書	絵本
470	7-0 多文化 115	世界のお弁当ー心をつなぐ味レシピ 55	河出書房新社	写真集
471	7-0 多文化 116	おんなし、おんなじ！でも、ちょっとちがう！	光村教育図書	絵本
472	7-0 多文化 117	アフリカ少年が日本で育った結果	毎日新聞出版	書籍
473	7-0 多文化 118	まんが クラスメイトは外国人 課題編 私たちが向き合う多文化共生の現実	明石書店	書籍
474	7-0 多文化 119	ふたりのサンドウィッチ	TO ブックス	絵本
475	7-0 多文化 120	スポーツでひろげる国際理解 3 国境をこえるスポーツ	文溪堂	書籍
476	7-0 多文化 121	国籍の？(ハテナ)がわかる本	太郎次郎社エディタス	書籍
477	7-0 多文化 122	ランカ にほんにやってきた おんなのこ	偕成社	絵本
478	7-1 多文化 1	アニニョハシムニカ 素顔の韓国 サワデリカー ほほ笑みの国・タイ	アジア女性交流・研究フォーラム	ビデオ
479	7-1 多文化 2	スラムシアン インドネシアの子どもたち	アジア女性交流・研究フォーラム	ビデオ
480	7-1 多文化 3	マブハイ 陽気なフィリピンの子どもたち	アジア女性交流・研究フォーラム	ビデオ
481	7-1 多文化 4	となりに生きる外国人	アジア太平洋資料センター	ビデオ
482	7-1 多文化 5	国際理解 はじめの一步 インドネシア・バリ島編	インドネシア教育振興会	CD
483	7-1 多文化 6	Ciranda,Cirandinha	多文化共生センター	CD
484	7-1 多文化 7	孤独なツバメたちーデカセキの子供に生まれてー	TO ブックス	DVD
485	7-1 多文化 8	ナニジン？- トモダチ作戦 -	(公財) とよなか国際交流協会	DVD
486	7-1 多文化 9	こんばんは 墨田区立文花中学校夜間学級	「こんばんは」全国上映	
487	8-0 写真 1	百年の愚行	紀伊国屋書店	書籍
488	8-0 写真 2	「ゴミと宝石」 フィリピン、スモーキーマウンテンの子供たち	第三書館	書籍
489	8-0 写真 3	イラクに生きる I love Iraq	国土社	書籍
490	8-0 写真 4	INDIA Fairs&Festivals	学研	書籍
491	8-0 写真 5	Who? 報道されないアフガンの素顔	平和出版	書籍
492	8-0 写真 6	地球の仲間たち フォトランゲージ アメリカ合衆国	開発教育を考える会	ワークキット
493	8-0 写真 7	地球の仲間たち フォトランゲージ エクアドル	開発教育を考える会	ワークキット
494	8-0 写真 8	地球の仲間たち フォトランゲージ エチオピア	開発教育を考える会	ワークキット
495	8-0 写真 9	地球の仲間たち フォトランゲージ ガーナ	開発教育を考える会	ワークキット
496	8-0 写真 10	地球の仲間たち フォトランゲージ コートジボアール	開発教育を考える会	ワークキット
497	8-0 写真 11	地球の仲間たち フォトランゲージ コスタリカ	開発教育を考える会	ワークキット
498	8-0 写真 12	地球の仲間たち フォトランゲージ コロンビア	開発教育を考える会	ワークキット
499	8-0 写真 13	地球の仲間たち フォトランゲージ スリランカ	開発教育を考える会	ワークキット
500	8-0 写真 14	地球の仲間たち フォトランゲージ 中国	開発教育を考える会	ワークキット
501	8-0 写真 15	地球の仲間たち フォトランゲージ ニカラグア	開発教育を考える会	ワークキット
502	8-0 写真 16	地球の仲間たち フォトランゲージ ニジェール	開発教育を考える会	ワークキット
503	8-0 写真 17	地球の仲間たち フォトランゲージ ネパール (ニッキー)	開発教育を考える会	ワークキット
504	8-0 写真 18	地球の仲間たち フォトランゲージ ネパール (ブラサンタ)	開発教育を考える会	ワークキット
505	8-0 写真 19	地球の仲間たち フォトランゲージ ハンガリー	開発教育を考える会	ワークキット
506	8-0 写真 20	地球の仲間たち フォトランゲージ パキスタン	開発教育を考える会	ワークキット
507	8-0 写真 21	地球の仲間たち フォトランゲージ パナマ	開発教育を考える会	ワークキット
508	8-0 写真 22	地球の仲間たち フォトランゲージ パプアニューギニア	開発教育を考える会	ワークキット
509	8-0 写真 23	地球の仲間たち フォトランゲージ パラグアイ	開発教育を考える会	ワークキット
510	8-0 写真 24	地球の仲間たち フォトランゲージ ブルガリア	開発教育を考える会	ワークキット
511	8-0 写真 25	地球の仲間たち フォトランゲージ ホンジュラス	開発教育を考える会	ワークキット
512	8-0 写真 26	地球の仲間たち フォトランゲージ ボツワナ	開発教育を考える会	ワークキット
513	8-0 写真 27	地球の仲間たち フォトランゲージ ボリビア	開発教育を考える会	ワークキット
514	8-0 写真 28	地球の仲間たち フォトランゲージ モルディブ	開発教育を考える会	ワークキット
515	8-0 写真 29	地球の仲間たち フォトランゲージ ラオス	開発教育を考える会	ワークキット
516	8-0 写真 30	地球の仲間たち フォトランゲージ ヨルダン	開発教育を考える会	ワークキット
517	8-0 写真 31	地球家族	TOTO 出版	写真書籍
518	8-0 写真 32	続地球家族	TOTO 出版	写真書籍
519	8-0 写真 33	地球の食卓	TOTO 出版	写真書籍
520	8-0 写真 34	祝祭 世界の祭り・民族・文化	クレオ	写真書籍
521	8-0 写真 35	地球人記	福音館書店	写真書籍
522	8-0 写真 36	地球人生活記	福音館書店	写真書籍

国際教育・開発教育教材目録

	分類番号	教 材 名	発行・出版社	種 類
523	8-0 写真 37	地球家族フォトランゲージ版	国際理解教育センター	写真
524	8-0 写真 38①②	地球家族フォトランゲージ版 (A4 版)	国際理解教育センター	写真
525	8-0 写真 39	地球家族フォトランゲージ版 (A3 版)	国際理解教育センター	写真
526	8-0 写真 40	地球の食卓フォトランゲージ (B4 版)	国際理解教育センター	写真
527	8-0 写真 41	MONO 変身図鑑	JICA	写真、CD
528	8-0 写真 42	写真集「ギフト」 GIFT to children of Angkor	マガジンハウス	書籍
529	8-0 写真 43	地球の仲間たち CD-Rom 版	開発教育を考える会	CD
530	8-0 写真 44①②	写真で学ぼう! 地球の食卓 学習プラン 1 0	開発教育協会	写真、解説書
531	8-0 写真 45	地球のごはん 世界 30 カ国 80 人のいただきます	TOTO 出版	写真書籍
532	8-0 写真 46	トランクの中の日本 米従軍カメラマンの非公式記録	小学館	写真書籍
533	8-0 写真 47	食べもの記—EATING ON EARTH	福音館書店	写真書籍
534	9-0 メディア 1	ニュースに耳を傾ける ブローバル・エクスプレス第 1 号	開発教育協会	ブックレット
535	9-0 メディア 2	攻撃を超えて ブローバル・エクスプレス第 2 号	開発教育協会	ブックレット
536	9-0 メディア 3	難民 ブローバル・エクスプレス第 3 号	開発教育協会	ブックレット
537	9-0 メディア 4	イラク グローバル・エクスプレス第 4 号	開発教育協会	ブックレット
538	9-0 メディア 5	戦争報道 ブローバル・エクスプレス第 5 号	開発教育協会	ブックレット
539	9-0 メディア 6	メディア・リテラシー【入門編】	リベルタ出版	書籍
540	9-0 メディア 7	NIE ワークシート 100 例	晩成書房	書籍
541	9-0 メディア 8	時事問題を教室へグローバルエクスプレス (無料ダウンロード版)	開発教育協会	
542	10-0 子ども 1	アジアの子ども	明石書店	書籍
543	10-0 子ども 2	シエラレオネ 5 歳まで生きられない子どもたち	アートン	書籍
544	10-0 子ども 3	こどもの権利を貰わないで - プンとミーチャのものがたり (英訳付)	自由国民社	絵本
545	10-0 子ども 4	「日本の子どもは何をして働いているの?」	国際子ども権利センター	絵本
546	10-0 子ども 5	世界の子どもたち NGO の現場から	明石書店	書籍
547	10-0 子ども 6	ロサーリオの死 - 少女の残したもの -	日本ユニセフ協会	書籍
548	10-0 子ども 7	子ども地球白書 2002-2003	朔北社	書籍
549	10-0 子ども 8	児童の権利に関する条約	外務省	ブックレット
550	10-0 子ども 9	世界の子どもたちに今おきていること	日本ユニセフ協会	書籍
551	10-0 子ども 10	多発する少女買春 子どもを扱う男たち	新評論	書籍
552	10-0 子ども 11	子どもたちのアフリカ	岩波書店	書籍
553	10-0 子ども 12	「ストリートチルドレン・100 人の子どもたち」教材パッケージ (ビデオ 2 本付)	シャプラニール	ワークキット・ビデオ
554	10-0 子ども 13	わたし 8 歳、カカオ畑で働きつけて	ACE	書籍
555	10-0 子ども 14	ワークシヨップ『大切なものは何ですか?』〜こどもたちがうつしたカンボジアの今	エデュケーション・サポート・センター [Edu]	ワークキット
556	10-0 子ども 15	スクールセクシャルハラスメント	国際子ども権利センター	書籍
557	10-0 子ども 16	子どもの権利条約カードとユニセフポスターセット		ワークキット
558	10-0 子ども 17	おいしいチョコレートの真実〜働く子どもたちとわたしたちとのつながり〜	ACE	ワークキット
559	10-0 子ども 18	もたないばあさんと考えよう世界のこと	講談社	書籍
560	10-0 子ども 19	ぼくら地球市民 1 戦争なんてもうやめて	大月書店	書籍
561	10-0 子ども 20	ぼくら地球市民 2 キッズパワーが世界を変える	大月書店	書籍
562	10-0 子ども 21	ぼくら地球市民 3 わたしと地球の約束	大月書店	書籍
563	10-0 子ども 22	どこにいるかわかる?	こぐま社	絵本
564	10-0 子ども 23	世界の子どもたちは今〜子ども兵士	リブリオ出版	書籍
565	10-0 子ども 24	世界の子どもたちは今〜児童労働	リブリオ出版	書籍
566	10-0 子ども 25	世界の子どもたちは今〜子どもの人身売買	リブリオ出版	書籍
567	10-0 子ども 26	「ぼくは 12 歳、路上で暮らしてはじめてわけ。—私には何ができますか? その悲しみがなくなる日を夢見て」	合同出版	書籍
568	10-0 子ども 27	子どもの参加を促すガイド	jnne	書籍
569	10-0 子ども 28	貧しい国で女の子として生きるとのこと 開発途上国からの 5 つの物語	遊タイム出版	書籍
570	10-0 子ども 29	「世界中の子どもに教育を」キャンペーン 2011 女の子と女性の教育	「世界中の子どもに教育を」キャンペーン事務局	ワークキット
571	10-0 子ども 30	おかしな、またあんな ストリートチルドレン・トトのものがたり	東京書籍	書籍
572	10-0 子ども 31	ダイヤモンドより平和がほしい〜子ども兵士・ムリアの告白	汐文社	書籍
573	10-0 子ども 32	この T シャツはどこからくるの? - ファッションの裏側になる児童労働の真実〜	(特活) ACE	ワークキット
574	10-0 子ども 33	わたしは 13 歳、学校に行けずに花嫁になる。	合同出版	書籍
575	10-0 子ども 34	ぼくがラーメン たべるとき	教育画劇	絵本
576	10-0 子ども 35	写真でのぞいてみよう - 世界で働く子どもの生活	フリー・ザ・チルドレン・ジャパン	ワークキット
577	10-0 子ども 36	児童労働シミュレーションカードゲーム	フリー・ザ・チルドレン・ジャパン	ワークキット
578	10-0 子ども 37	わたし 8 歳、職業、家事使用人	合同出版	書籍
579	10-0 子ども 38	すごいね! みんなの通学路	西村書店	写真絵本
580	10-0 子ども 39	私はどこで生きていけばいいの?	西村書店	写真絵本
581	10-0 子ども 40	世界を変えるために 50 の小さな革命	太郎次郎エディタス	書籍
582	10-0 子ども 41	世界中の子どもの権利をまもる 3 0 の方法	合同出版	書籍
583	10-0 子ども 42	こども SDGs なぜ SDGs が必要なのか? わかる本	カンゼン	書籍
584	10-0 子ども 43	世界がぐっと近くなる SDGs とボくらをつなぐ本	学研プラス	書籍
585	10-1 子ども 1	I am child! 働かされる子供たち	ILO	ビデオ
586	10-1 子ども 2	STOP CHILD LABOUR	ILO	ビデオ
587	11-0 地図 1	くらべてわかる世界地図① 暴力の世界地図	大月書店	書籍
588	11-0 地図 2	くらべてわかる世界地図② 学校の世界地図	大月書店	書籍
589	11-0 地図 3	くらべてわかる世界地図③ ジェンダーの世界地図	大月書店	書籍
590	11-0 地図 4	くらべてわかる世界地図④ 福祉の世界地図	大月書店	書籍
591	11-0 地図 5	くらべてわかる世界地図⑤ 文化の世界地図	大月書店	書籍
592	11-0 地図 6	ワールドバンクミニアトラス	シュプリンガー・フェアラーク東京	書籍
593	11-0 地図 7	食料の世界地図	丸善	書籍
594	11-0 地図 8	NHK スペシャル データマップ 63 億人の地図 いのちの地図帳	アスコム	書籍
595	11-0 地図 9①②	No Longer Down Under	Hallifax	地図
596	11-0 地図 10	世界がみえる 地図の絵本	あすなろ書房	絵本
597	11-0 地図 11①②	Mapping our World	Oxfam	ブックレット
598	11-0 地図 12	今がわかる 時代がわかる 世界地図 2003 年版	成美堂出版	書籍
599	11-0 地図 13	今がわかる 時代がわかる 世界地図 2005 年版	成美堂出版	書籍
600	11-0 地図 14	今がわかる 時代がわかる 日本地図 2005 年版	成美堂出版	書籍
601	11-0 地図 15	Hunger Map もう一枚の世界地図	国際連合世界食糧計画	ブックレット
602	11-0 地図 16	Hunger Map ハンガーマップ	国際連合世界食糧計画	ワークキット
603	11-0 地図 17	イエティを探せ	ゆまに書房	絵本
604	11-0 地図 18	ピーター図マッ	Oxfam	地図
605	11-0 地図 19	世界地図 (アフリカ中心)		地図
606	11-0 地図 20	<文化の世界地図> 大型地図	グローバルみらい塾	地図
607	11-0 地図 21	<文化の世界地図> 解説冊子	グローバルみらい塾	冊子
608	11-0 地図 22	EARTH at NIGHT 宇宙から見た夜の地球 授業指導例 (ポスター) 指導書付	エネルギー教育全国協議会事務局	地図
609	11-0 地図 23	MAPS 新・世界地図	徳間書店	地図

国際教育・開発教育教材目録

	分類番号	教 材 名	発行・出版社	種 類
610	11-0 地図 24	地図でみる日本の外国人 改訂版	ナカニシヤ出版	書籍
611	12-0 国際協力 1①②③	JICA フォトランゲージキット	国際協力事業団	ワークキット
612	12-0 国際協力 2	いま私たちにできること	国際協力事業団	ブックレット
613	12-0 国際協力 3①②	ミレニアム開発目標 とともに生きる地球市民	外務省	ブックレット
614	12-0 国際協力 4	人口問題 ブリーフィング・キット 2001	アジア人口・開発協会	ブックレット
615	12-0 国際協力 5	世界人口白書 2002 人々・貧困・ひろがる可能性	アジア人口・開発協会	ブックレット
616	12-0 国際協力 6	世界子供白書 2003	ユニセフ	ブックレット
617	12-0 国際協力 7	世界子供白書 2004	ユニセフ	ブックレット
618	12-0 国際協力 8	世界子供白書 2005 危機に晒される子どもたち	ユニセフ	ブックレット
619	12-0 国際協力 9	世界子供白書 2006 存在しない子どもたち	ユニセフ	ブックレット
620	12-0 国際協力 10①②	開発のための教育	ユニセフ	ブックレット
621	12-0 国際協力 11①②	地球のともだち ユニセフワークブック	ユニセフ	ブックレット
622	12-0 国際協力 12①②	「総合的な学習の時間」とユニセフ	ユニセフ	ブックレット
623	12-0 国際協力 13	わたしの権利 みんなの権利	ユニセフ	ブックレット
624	12-0 国際協力 14①②	子どもの権利条約 カードブック	ユニセフ	ブックレット
625	12-0 国際協力 15①②	ユニセフと世界のともだち	ユニセフ	ブックレット
626	12-0 国際協力 16①②	国際理解カード	国際協力推進協会	ワークキット
627	12-0 国際協力 17	学校と地域がつくる国際理解教育	武蔵野市国際交流協会	ブックレット
628	12-0 国際協力 18	学校と地域がつくる国際理解教育 NGO 編	武蔵野市国際交流協会	ブックレット
629	12-0 国際協力 19	授業に役立つ総合学習の手引き 平成 11 年度高校教師海外研修に参加して	国際協力事業団	ブックレット
630	12-0 国際協力 20	国際理解教育の手引き 先生が見てきた国際協力の舞台 H12 中学校	国際協力事業団	ブックレット
631	12-0 国際協力 21	国際理解教育の手引き 地球を枕に夢を見よう H12 高校	国際協力事業団	ブックレット
632	12-0 国際協力 22	国際理解教育の手引き H13 高校	国際協力事業団	ブックレット
633	12-0 国際協力 23	国際理解教育の手引き H13 中学校	国際協力事業団	ブックレット
634	12-0 国際協力 24	国際理解教育の手引き H14 高校	国際協力事業団	ブックレット
635	12-0 国際協力 25	国際理解教育の手引き H15 小学校	国際協力事業団	ブックレット
636	12-0 国際協力 26	協力隊体験を伝えよう 2 生きる力を育てるワークショップ集	青年海外協力協会	ブックレット
637	12-0 国際協力 27	国連ってなあに？	国連広報センター	ブックレット
638	12-0 国際協力 28	みんなの国連	国連広報センター	ブックレット
639	12-0 国際協力 29	いっしょにやろうよ 国際ボランティア NGO ガイドブック	三省堂	書籍
640	12-0 国際協力 30	市民参加で世界を変える	朝日新聞社	書籍
641	12-0 国際協力 31	せかいじゅうにおともだちをつくろう	国際協力推進協会	紙芝居
642	12-0 国際協力 32	食べものから世界が見える、どこからきたの？	国際協力推進協会	紙芝居
643	12-0 国際協力 33	ごはんのこしていいの？	国際協力推進協会	紙芝居
644	12-0 国際協力 34	「援助」する前に考えよう 参加型開発と PLA がわかる本	開発教育協会	書籍
645	12-0 国際協力 35	国際協力と開発教育―「援助」の近未来を探る	明石書店	書籍
646	12-0 国際協力 36	「国際協力」をやってみませんか？仕事として、ボランティアで、普段の生活でも	小学館	書籍
647	12-0 国際協力 37	貧しい人を助ける理由 遠くのあの子とあなたのつながり	日本評論社	書籍
648	13-0 韓国文化 1	一目で見る韓国	太郎次郎社	絵本（ハングル）
649	13-0 韓国文化 2	壇君神話	太郎次郎社	絵本（ハングル）
650	13-0 韓国文化 3	一目で見る韓国の歴史	太郎次郎社	絵本（ハングル）
651	13-0 韓国文化 4	高句麗への旅	太郎次郎社	絵本（ハングル）
652	13-0 韓国文化 5	韓国の伝統（的生活）	太郎次郎社	絵本（韓英）
653	13-0 韓国文化 6	韓国の遊び	太郎次郎社	絵本（韓英）
654	13-0 韓国文化 7	韓国のシンボル	太郎次郎社	絵本（韓英）
655	13-0 韓国文化 8	韓国の礼儀と風習	太郎次郎社	絵本（韓英）
656	13-0 韓国文化 9	韓国へ行こう！	太郎次郎社	絵本（韓英）
657	13-0 韓国文化 10	ソウルへ行こう！	太郎次郎社	絵本（韓英）
658	13-0 韓国文化 11	栗谷李珥	太郎次郎社	絵本（ハングル）
659	13-0 韓国文化 12	世宗大王	太郎次郎社	絵本（ハングル）
660	13-0 韓国文化 13	李舜臣	太郎次郎社	絵本（ハングル）
661	13-0 韓国文化 14	安重根	太郎次郎社	絵本（ハングル）
662	13-0 韓国文化 15	柳順寛	太郎次郎社	絵本（ハングル）
663	13-0 韓国文化 16	金九	太郎次郎社	絵本（ハングル）
664	13-0 韓国文化 17	興夫と懶夫	太郎次郎社	絵本（ハングル）
665	13-0 韓国文化 18	お日さまとお月さま	太郎次郎社	絵本（ハングル）
666	13-0 韓国文化 19	青大将ソンビ	太郎次郎社	絵本（ハングル）
667	13-0 韓国文化 20	孝行娘沈清	太郎次郎社	絵本（ハングル）
668	13-0 韓国文化 21	あずき粥婆さんと虎	太郎次郎社	絵本（ハングル）
669	13-0 韓国文化 22	一粒の粟で結婚した男	太郎次郎社	絵本（ハングル）
670	13-0 韓国文化 23	五人の力士（力持ち）	太郎次郎社	絵本（ハングル）
671	13-0 韓国文化 24	新聞記者が高校生に語る 日本と朝鮮半島 100 年の明日	彩流社	書籍
672	13-0 韓国文化 25	ユンノリ物語	太郎次郎社	絵本（ハングル）
673	13-1 韓国文化 1	韓国朝鮮のあいさつの言葉	太郎次郎社	パネル＊
674	13-1 韓国文化 2	韓国朝鮮の親族呼称	太郎次郎社	パネル＊
675	13-1 韓国文化 3	韓国朝鮮料理	太郎次郎社	パネル＊
676	13-1 韓国文化 4	民族衣装と紐の結び方	太郎次郎社	パネル
677	13-1 韓国文化 5	初誕生日の服と婚礼服	太郎次郎社	パネル
678	13-1 韓国文化 6	千字文	太郎次郎社	パネル＊
679	13-1 韓国文化 7	ハングル	太郎次郎社	パネル＊
680	13-1 韓国文化 8	ウリナラ旅行図と半島図	太郎次郎社	パネル＊
681	13-1 韓国文化 9	生活案内標示・交通安全標識	太郎次郎社	パネル＊
682	13-1 韓国文化 10	不思議な体	太郎次郎社	パネル＊
683	13-1 韓国文化 11	図形	太郎次郎社	パネル
684	13-1 韓国文化 12	色	太郎次郎社	パネル
685	13-1 韓国文化 13	数字	太郎次郎社	パネル＊
686	13-1 韓国文化 14	動物	太郎次郎社	パネル＊
687	13-1 韓国文化 15	果物・野菜	太郎次郎社	パネル＊
688	14-0 移民 1	カリナのブラジルとニッポン	JICA 横浜海外移住資料館	紙芝居
689	14-0 移民 2	弁当からミックスプレートへ	JICA 横浜海外移住資料館	紙芝居
690	14-0 移民 3	ハワイにわたった日系移民	JICA 横浜海外移住資料館	紙芝居
691	14-0 移民 4	海を渡った日本人	JICA 横浜海外移住資料館	紙芝居
692	14-0 移民 5	移民カルタ	JICA 横浜海外移住資料館	カルタ
693	14-0 移民 6	目で見えるブラジル日本移民の百年	風響社	写真集
694	14-0 移民 7	日本・ブラジル 移民カルタ	JICA 横浜海外移住資料館	カルタ

国際教育 地球市民を地域とともに育てよう Part19 報告書

発行日 令和 3 年（2021年）3月

発 行 公益財団法人滋賀県国際協会

〒520-0801 滋賀県大津市におの浜1-1-20

ピアザ淡海 2 階

電話 077-526-0931

FAX 077-510-0601

E-mail info@s-i-a.or.jp

URL <https://www.s-i-a.or.jp>

印 刷 佐々木印刷有限公司



第1部「みんなで考えよう！教材作りのコツー主体的・対話的で深い学びの視点からー」



第2部「言葉を介さない対話は可能か？ー非言語コミュニケーションを活用したアクティビティあれこれー」

国際教育教材体験フェア in 滋賀 2020 (Part 11)